



2025年3月期 決算説明会

2025年5月13日

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社(以下「SBG」)及びその子会社(以下SBGと併せて「当社」)並びに関連会社(以下当社と併せて「当社グループ」)に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド(下記で別途定義)並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、アーム及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業(SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。)に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ－SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR(米国預託証券)に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR(以下「ADR」)の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGIは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設定又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法(以下「証券取引所法」)で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRIに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

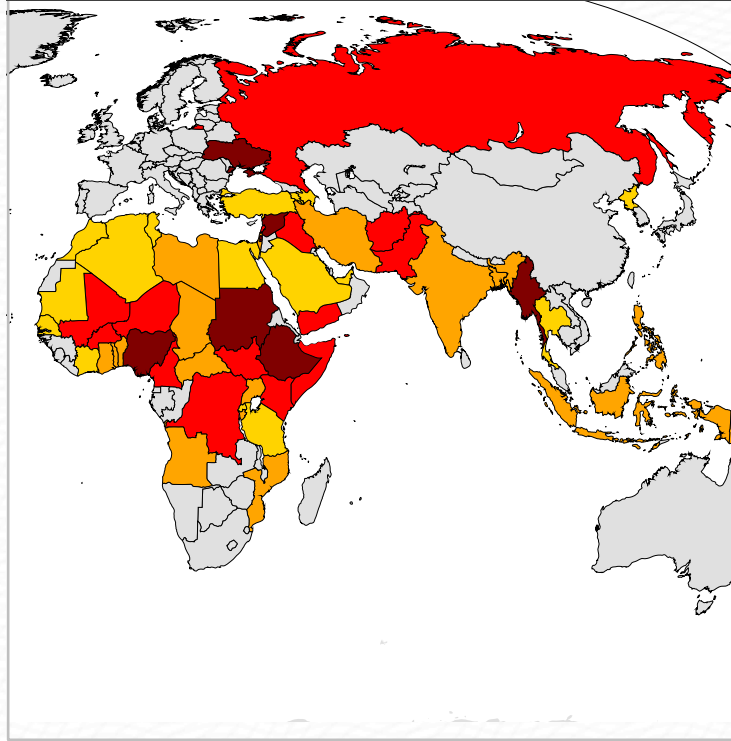
本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited(以下「SBGA」)、SB Investment Advisers (UK) Limited(以下「SBIA」)及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社(以下併せて「SBファンド運用会社」)により運用されるいずれかのファンド(文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」)のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」)、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」)及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」)を含みます。SBファンド(ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む)、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因(例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。)に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市場、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。本資料に記載される第三者のロゴ及びバンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカ・ファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

不透明感は増すばかり

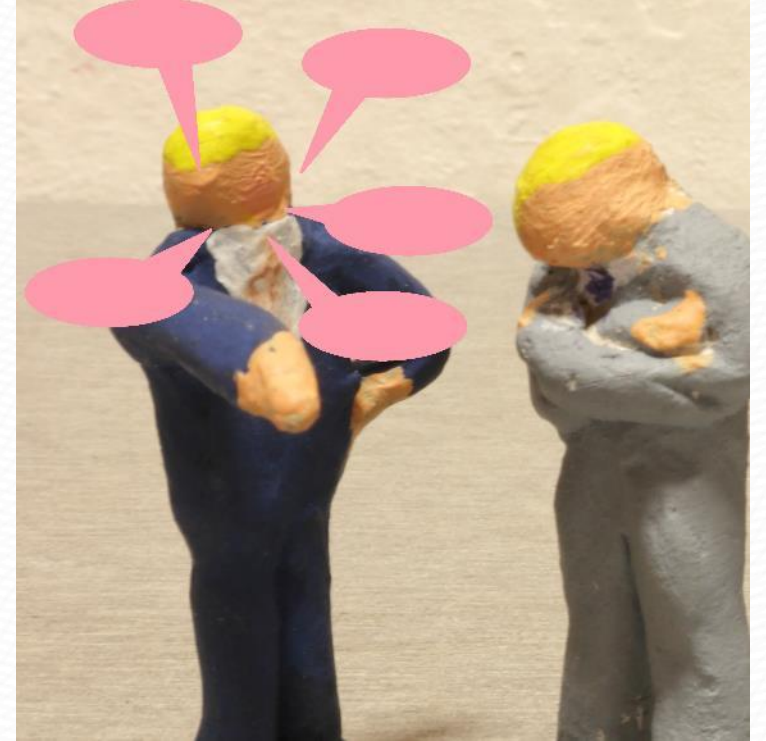
米中対立の激化



各地で続く紛争



政権・政策変更



情報革命で人々を幸せに

PCソフト



インターネット



ブロードバンド



スマートフォン



AI



AIチップ

AIデータ
センター

ASI

Artificial Super
Intelligence

AIロボット

電力

ASI実現をグループ総力で推進



芽吹き of 1年



OpenAI、Oracleと共に
「Stargate Project」を発表



「クリスタル・インテリジェンス」に関する
OpenAIとのパートナーシップを発表



OpenAIへの追加出資をコミット:
満額シンジケーション後で最大\$30B出資予定



Ampereを\$6.5Bで買収することを決定
(2025年後半取引完了見込み)

2024年度の決算報告

2024年度決算ハイライト

- 1 テック株下落によりNAVは25.7兆円(前年度末比2.1兆円減)
- 2 LTV・手元流動性の財務方針を堅持 ➡ 2025年度も方針不変
- 3 当期純利益1.15兆円(前年度比1.38兆円改善)。4年ぶりの黒字
- 4 ASI実現に前進: Stargate発表、OpenAIへの追加出資決定

重要指標

重要指標 (2024年3月末比)

NAV
(時価純資産)

2024年3月末

27.8 兆円

2025年3月末

25.7 兆円

LTV
(純負債／保有株式価値)

8.4 %

18.0 %

手元流動性

4.7 兆円

3.4 兆円

NAVおよびLTVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2024年3月末時点)」 「NAV・LTVの定義及び算出方法(2025年3月末時点)」を参照
手元流動性=現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+債券投資+借入枠の未使用金額(コミットメントラインおよびアーム株式を活用したマージンローン)。2025年3月末時点でコミットメントラインは全額使用、アーム株式を活用したマージンローンのうち\$5.0Bは未使用。SBG単体ベース

重要指標（直近試算値）

LTV上昇も財務方針は不変

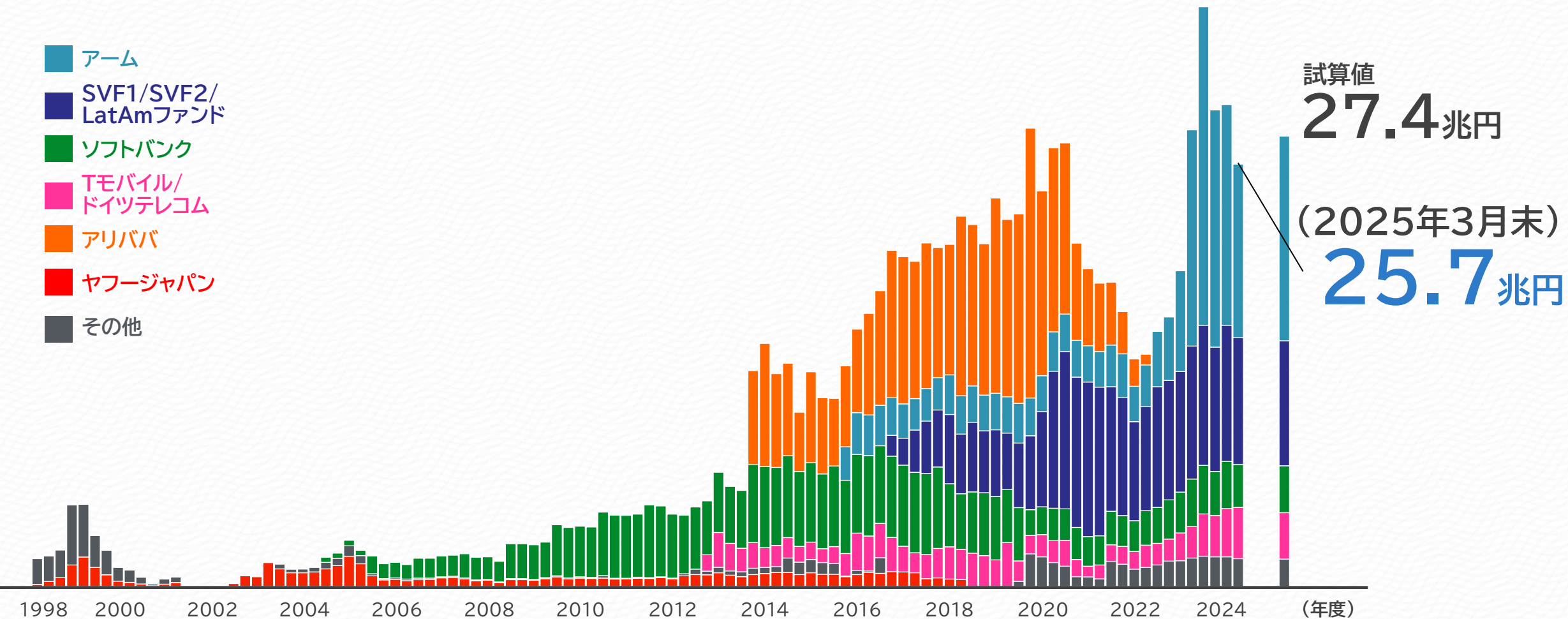
試算値

2025年5月12日時点の
株価・為替レート適用
+ 2025年4月の\$8.5Bの
OpenAI投資・同額借入反映
2025年3月末

	2024年3月末	2025年3月末		2025年3月末
NAV (時価純資産)	27.8 兆円	25.7 兆円	▷	27.4 兆円
LTV (純負債／保有株式価値)	8.4 %	18.0 %	▷	20.1 %
手元流動性	4.7 兆円	3.4 兆円	▷	3.3 兆円

NAVおよびLTVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2024年3月末時点)」 「NAV・LTVの定義及び算出方法(2025年3月末時点)」 「NAV・LTVの定義及び算出方法(試算値 2025年3月末ベース)」を参照
手元流動性＝現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋債券投資＋借入枠の未使用金額(コミットメントラインおよびアーム株式を活用したマージンローン)。2025年3月末時点でコミットメントラインは全額使用、アーム株式を活用したマージンローンのうち\$5.0Bは未使用。SBG単体ベース。
試算値は、2025年3月末時点の資産・負債構成に、2025年4月のOpenAIへの\$8.5Bの投資および同額の借入取引を反映し、同年5月12日時点の株価・為替レートを適用して試算した参考値であり、将来の値を保証・示唆するものではない。

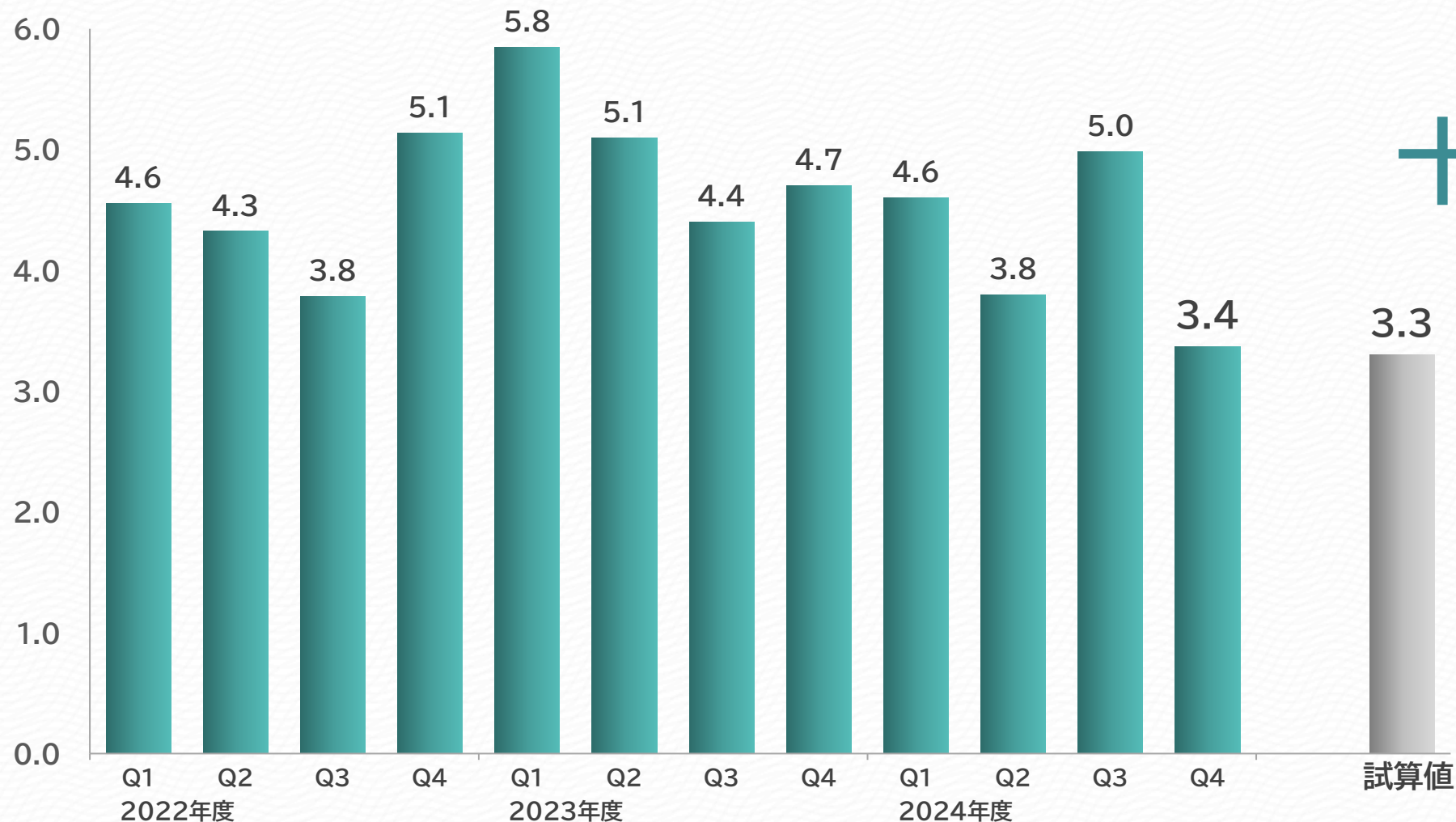
NAV推移 (1998年度～)



NAVの詳細は、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
試算値は、2025年3月末時点の資産・負債構成に、2025年4月のOpenAIへの\$8.5Bの投資および同額の借入取引を反映し、同年5月12日時点の株価・為替レートを適用して試算した参考値であり、将来の値を保証・示唆するものではない。

手元流動性

(兆円)



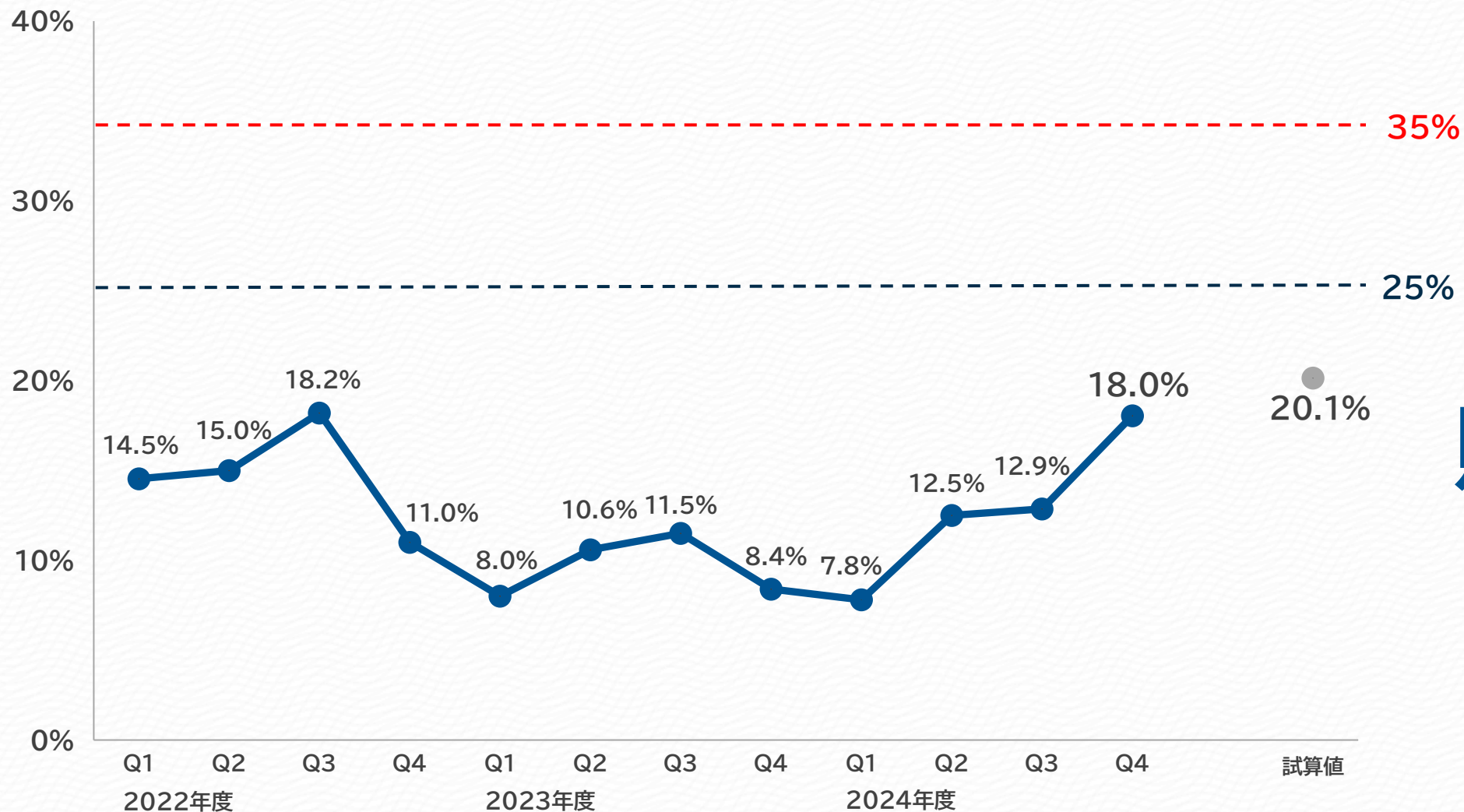
十分な資金力

手元流動性＝現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋債券投資＋借入枠の未使用金額（コミットメントラインおよびアーム株式を活用したマージンローン）。2025年3月末時点でコミットメントラインは全額使用、アーム株式を活用したマージンローンのうち\$5.0Bは未使用。SBG単体ベース
試算値は、2025年3月末時点の外貨建て残高に同年5月12日時点の為替レートを適用して試算した参考値であり、将来の値を保証・示唆するものではない。

各四半期末時点

LTV

アセットバック・ファイナンス除く



財務方針を
堅持

各四半期末時点
LTVの算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
試算値は、2025年3月末時点の資産・負債構成に、2025年4月のOpenAIへの\$8.5Bの投資および同額の借入取引を反映し、同年5月12日時点の株価・為替レートを適用して試算した参考値であり、将来の値を保証・示唆するものではない。

連結業績

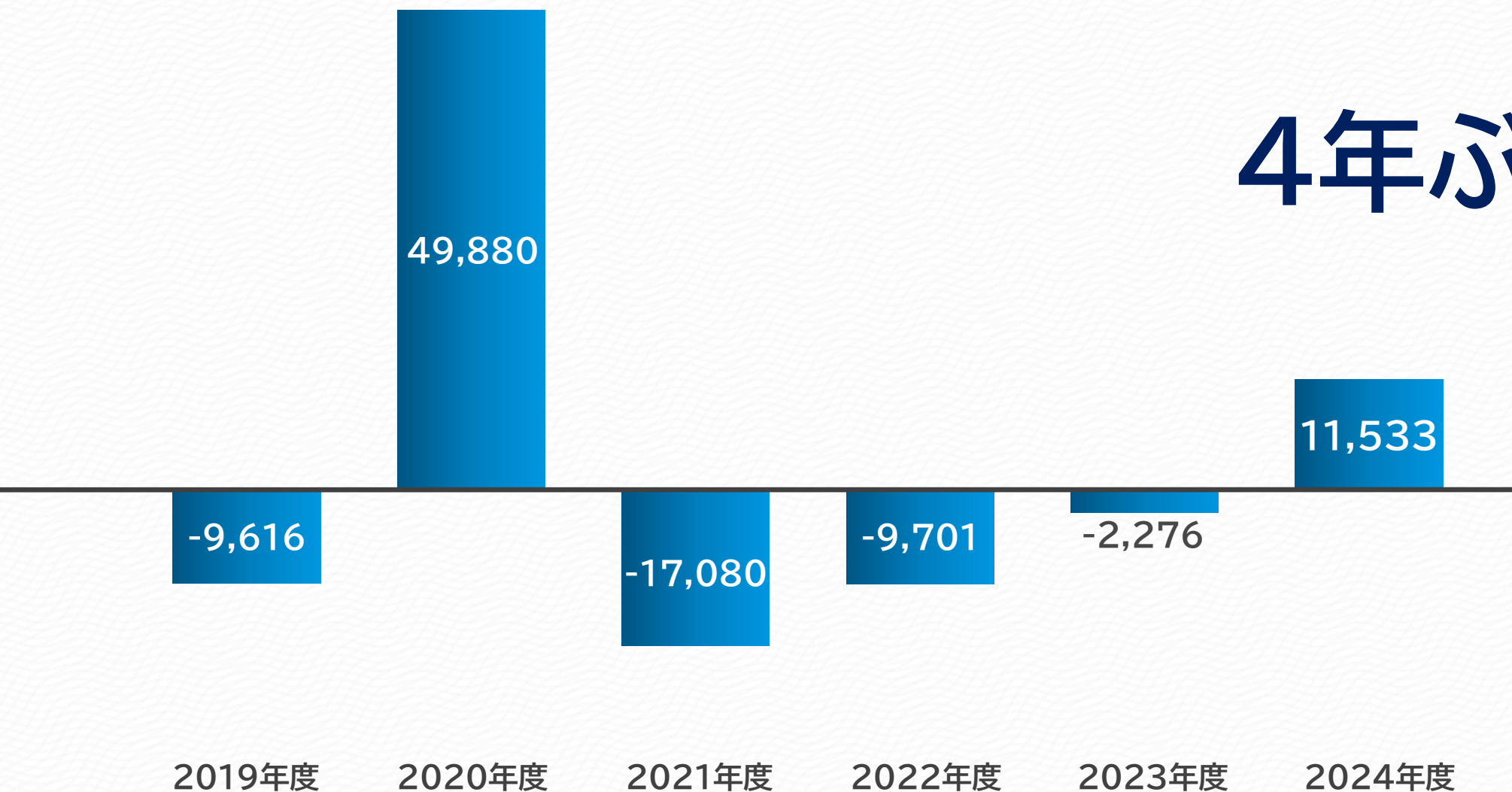
連結業績

(億円)

	2023年度	2024年度	増減額
売上高	67,565	72,438	+4,873
投資損益	-5,594	37,011	+42,605
税引前利益	578	17,047	+16,469
純利益	-2,276	11,533	+13,810

純利益（年度）

（億円）

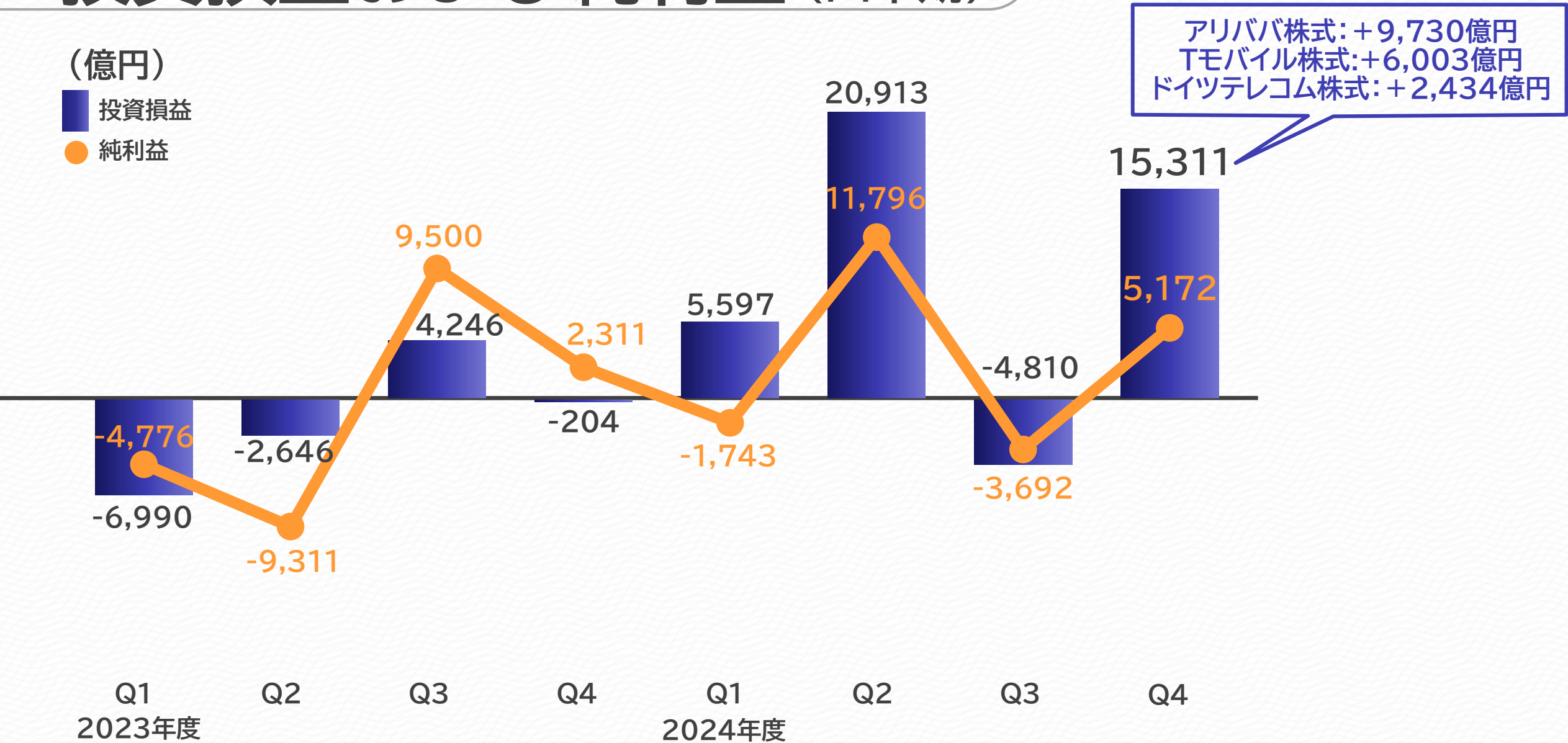


4年ぶり黒字

投資損益および純利益（四半期）

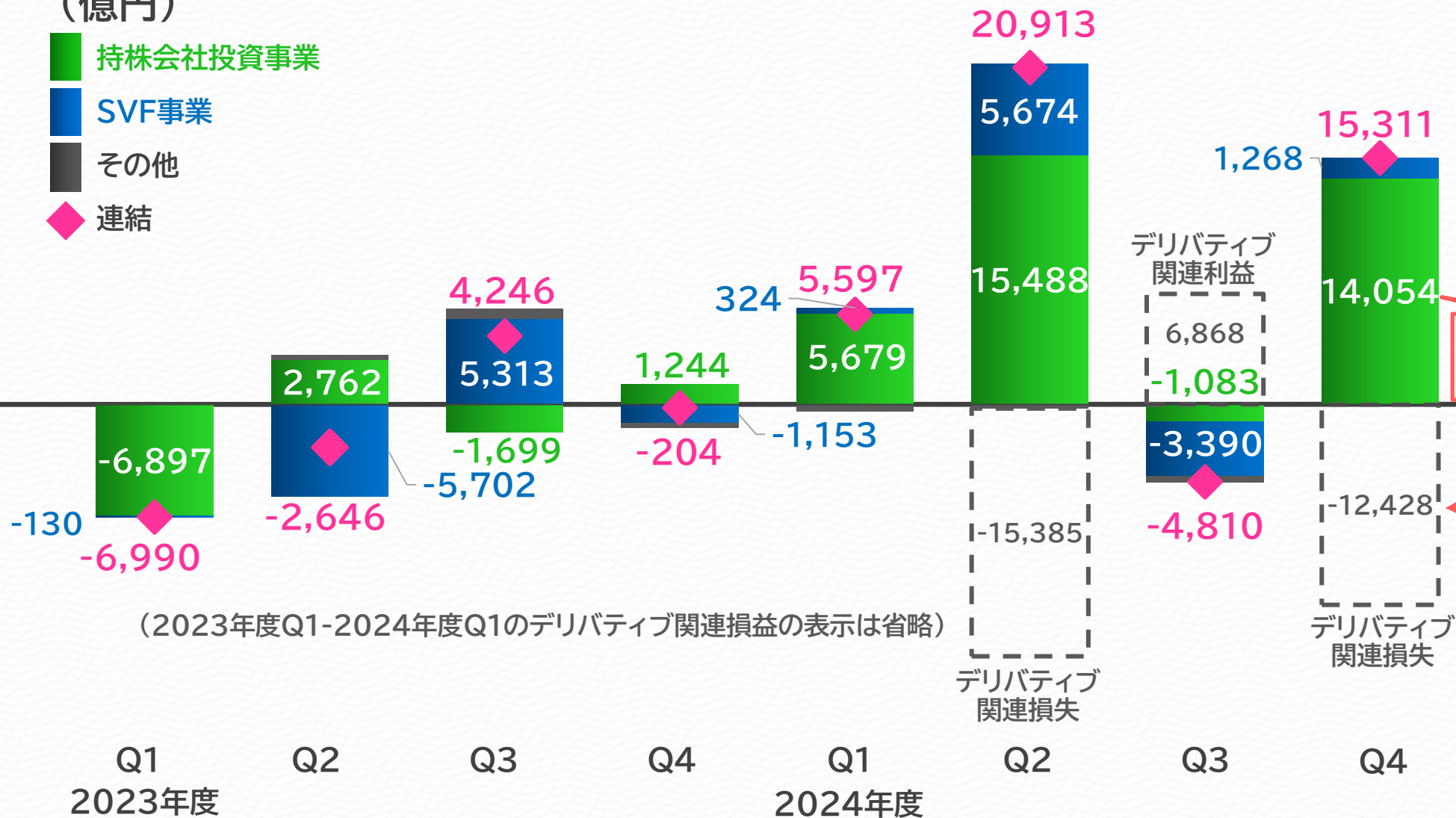
（億円）

■ 投資損益
● 純利益



投資損益 (四半期)

(億円)



- ・先渡売買契約、カラー契約で資金化済
- ・株価変動から生じる現物株とデリバティブの損益は相殺

アリババ株式: +9,730億円
ドイツテレコム株式: +2,434億円

(2023年度Q1-2024年度Q1のデリバティブ関連損益の表示は省略)

為替影響 (2024年度)

円高はNAVと資本にマイナスの影響

1米ドル= ^(2024年3月末)151.41円 → ^(2025年3月末)149.52円 → ^(2025年5月12日)145.96円

NAVへの影響

-0.3兆円

会計への影響

資本

-0.5兆円

連結純利益

+271億円

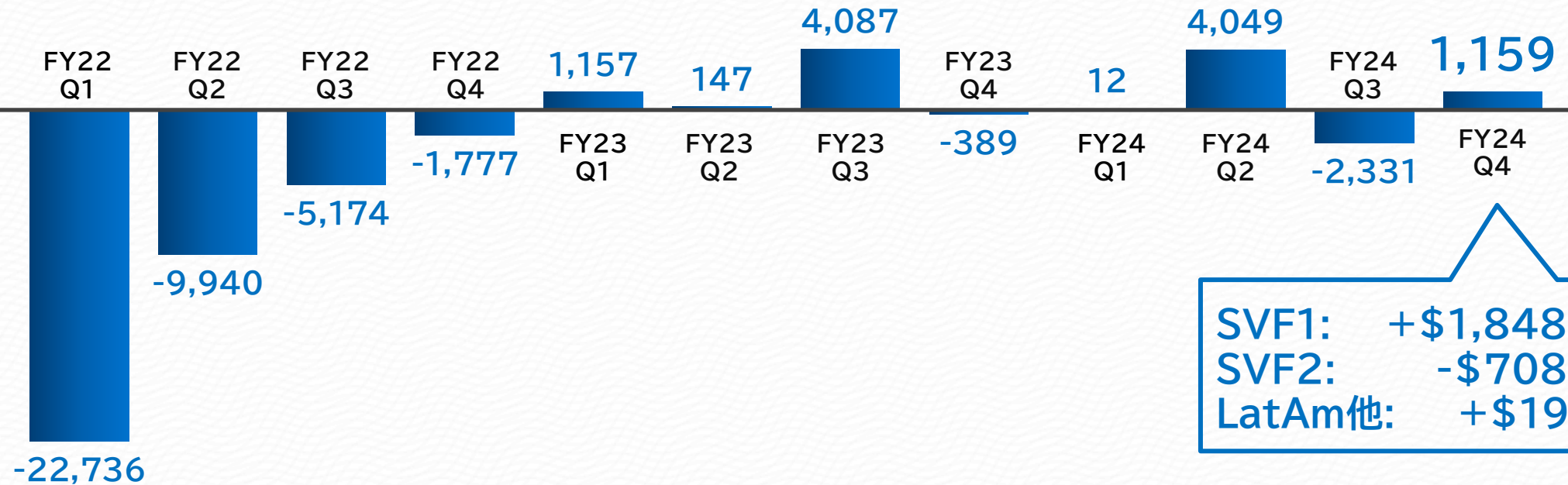
NAVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2025年3月末時点)」を参照
NAVへの影響: 2025年3月末時点の現地通貨建ての保有株式価値、有利子負債および手元流動性について比較対象時点の為替レートで円換算したときのNAVとの差額。ただし、SVF1・2・LatAmファンド・SB Northstarは米ドル建てとみなして試算
会計への影響: 2024年度の連結損益計算書の為替差損益および連結財政状態計算書のその他の包括利益累計額に含まれる在外営業活動体の為替換算差額の増減額

SVF

SVF:投資損益 (四半期)

USDベース
(SVFセグメント)

(\$ M)



SVF1: +\$1,848M
SVF2: -\$708M
LatAm他: +\$19M

投資損益(四半期):SVF事業からの投資損益(セグメント情報)の四半期計上額
(当社連結財務諸表の作成における為替換算前、デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

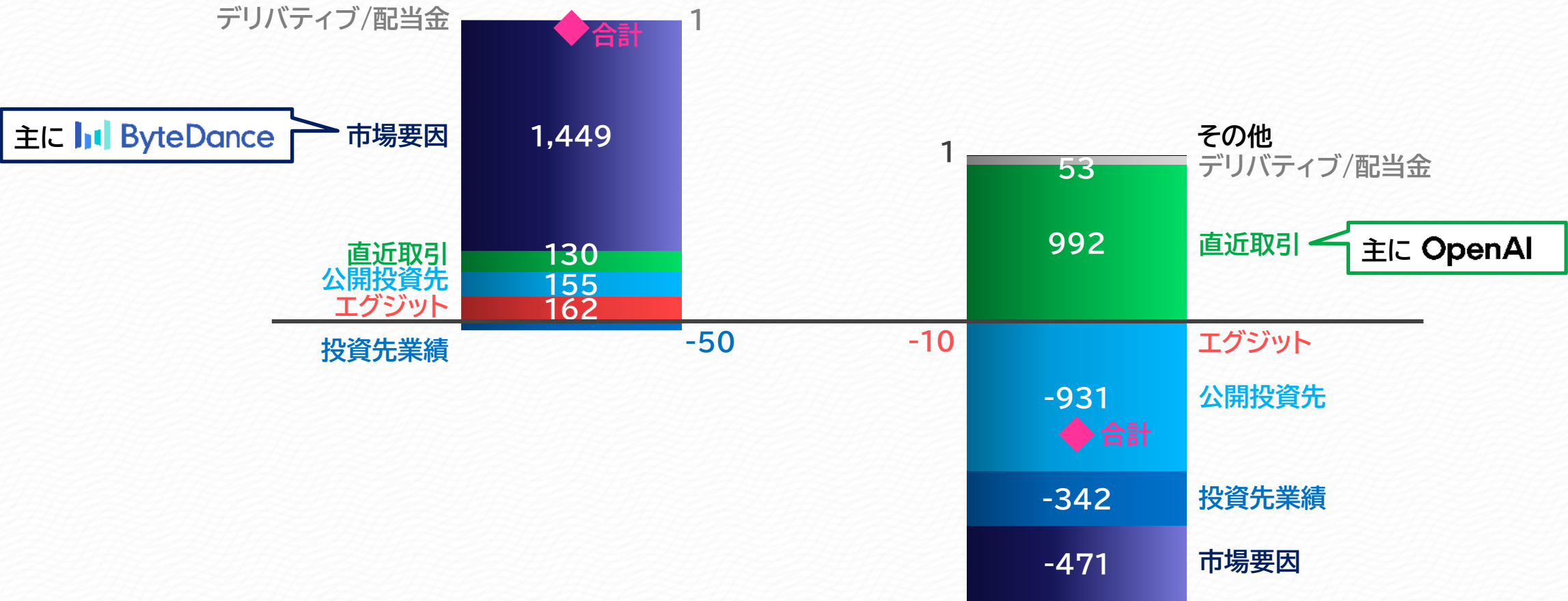
SVF:投資損益の内訳 (2024年度Q4)

USDベース
(SVFセグメント)

(\$ M)

SVF1 +\$1,848M

SVF2 -\$708M



投資損益: SVF1およびSVF2からの投資損益(セグメント情報。デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
各投資先の2024年度Q4における価値変動の主要因について、SBGAおよびSBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示
エグジット: 実現損益(投資のエグジット金額から投資額を差し引いた金額)および2024年度Q4にエグジットした投資の未実現評価損益過去計上額の実現損益への振替を含む。
公開投資先: 店頭市場で取引されている投資先を含む。市場要因: 類似企業株価比較、資本コストの変動などによる価値変動を含む。その他: 為替影響などを含む。
デリバティブ/配当金: 「投資に係るデリバティブ関連損益」、「投資先からの利息および配当金」

SVF:投資損益 (活動開始来累計)

USDベース
(SVFセグメント)

(\$ M)

8,526

SVF1: +\$23.4B
SVF2: -\$22.9B
LatAm他: -\$1.0B

FY22
Q1

-1,414

FY22
Q2

-6,588

FY22
Q3

-8,365

FY22
Q4

-7,208

FY23
Q1

-7,061

FY23
Q2

-2,975

FY23
Q3

-3,364

FY23
Q4

-3,352

FY24
Q1

FY24
Q2

698

-1,634

FY24
Q3

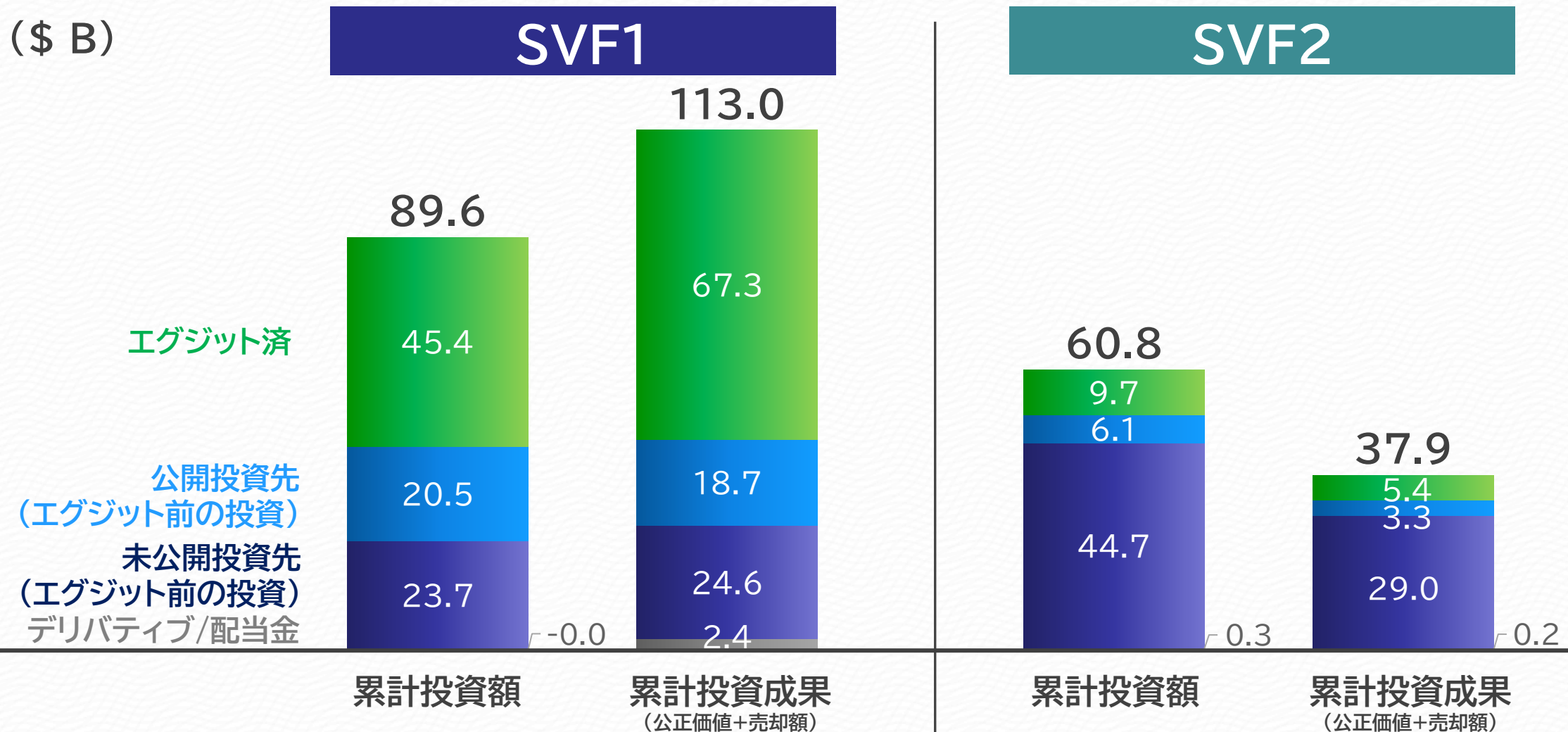
-475

FY24
Q4

投資損益(活動開始来累計):SVF事業からの投資損益(セグメント情報)の2017年度Q1からの累計上額
(当社連結財務諸表の作成における為替換算前、デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

SVF:累計投資成果 (2025年3月末時点)

(\$ B)



外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開／未公開の区分は、2025年3月末時点の状態に基づく。
 エグジット済には、株式交換および投資先の組織再編による処分(売却)を含む。公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。
 当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は累計投資成果に含めていない。
 SVF2のエグジット前の投資の投資額および公正価値には、投資の取得対価の一部として受領した他会社の非支配持分に係るものを含む。デリバティブ/配当金:「投資に係るデリバティブ関連損益」、「投資先からの利息および配当金」

株式公開実績と今後のパイプライン

将来の株式公開に向けた強固なパイプラインを確保

株式公開実績(活動開始来累計)

55件

2024年度の新規株式公開

5件

Metsera

(2025年1月)

XtalPi

firstcry.com

OLA ELECTRIC



Swiggy

(2024年4月~12月)

レイトステージ投資先の公正価値合計 \$36B

主なレイトステージ投資先

ByteDance

Klarna

KAVAK

Fanatics

OpenAI

QuintoAndar

klook

PayPay

wellhub

株式公開実績(活動開始来累計): IPO件数およびSPACとの合併(De-SPAC)による株式公開件数。株式公開日に投資した投資先および投資後に2025年3月末時点で、(出所) SBGAおよびSBIA WeWork(全部エクジット済み)およびFull Truck Allianceは、いずれもSVF1およびSVF2からの投資。OpenAIは、豊富な資金調達実績と直近の評価額に基づき、「レイトステージ」の投資先として分類。レイトステージ投資先の公正価値: 2025年3月末時点でシリーズE以降または同等のレイトステージラウンドにおいて資金調達を実施した、またはSBGAおよびSBIAの分析に基づき近い将来に上場する可能性があると考えられる未公開投資先の未実現の公正価値を含む。本スライドに記載の投資は、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが実施した投資のうち、シリーズEまたはそれに相当するレイトステージラウンドにおいて資金調達を実施した、または株式公開した投資先を例示するために選択されたものであり、SVF1、SVF2およびLatAmファンドの投資先を網羅するものではない。SVF1およびSVF2の投資先一覧は<https://visionfund.com/portfolio>に、LatAmファンドの投資先一覧は<https://www.latinamericafund.com/portfolio>に掲載。SVF1によるアームへの投資に関して、アームの新規株式公開に先立つ2023年8月、当社100%子会社はSVF1が保有していたアームの普通株式の実質的に全てを取得した。レイトステージ投資先が将来的にまもなく株式公開する、あるいはいつでも株式公開が可能であることを保証するものではない。過去の業績が将来も継続することを保証するものではない。

SVF2:2024年度の主な新規投資

AI革命を牽引する企業への投資に引き続き注力

(Q2)

glean

最高レベルの検索機能と
操作性の高いAIエージェントを
法人向けに提供

(Q2、4)

OpenAI

AIモデルやサービスの研究開発
および実用化を推進

(Q3)

HELION

次世代型核融合技術の開発により
低コストでクリーンなエネルギーの
提供を目指す

(Q2)

runway

AIを使用した映像作成・編集ツ
ールを提供し、映像制作の効率化と
表現手法の拡張を支援

(Q3)

databricks

統合クラウドプラットフォームを
企業向けに提供し、AIインフラ
およびデータベースの
構築・拡張・運用管理を支援

(Q4)

tines

コード不要のワークフロー自動化
プラットフォームを提供し
企業の作業効率化を支援

2025年3月末時点から過去12カ月間にSVF2が実施した主な新規投資を含む。本スライドに記載の情報は、SVF2についてのみ言及されており、あくまで例示的な目的で提供されている。
本スライドに記載の投資は、過去12カ月間の投資活動を例示するために選択されたものである。本スライドに記載の投資への言及は、特定の投資または証券の推奨として解釈されるべきものではなく、将来行われる投資が、本スライドに記載の投資と質またはパフォーマンスに
おいて同等であると想定されるべきではない。過去の業績は将来の結果を示すものではない。



arm

売上高 (年度)(米国会計基準)

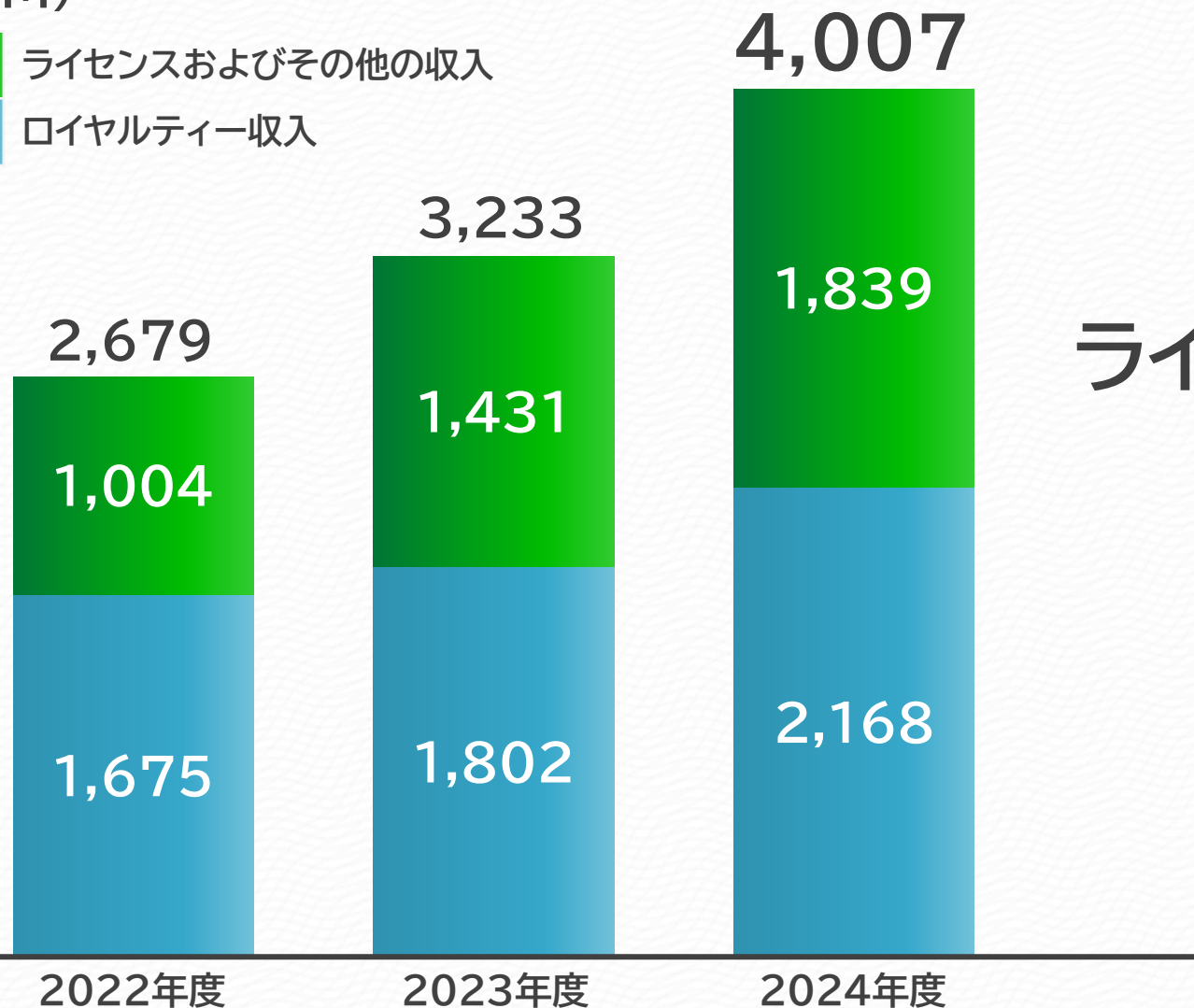


(\$ M)



ライセンスおよびその他の収入

ロイヤルティー収入



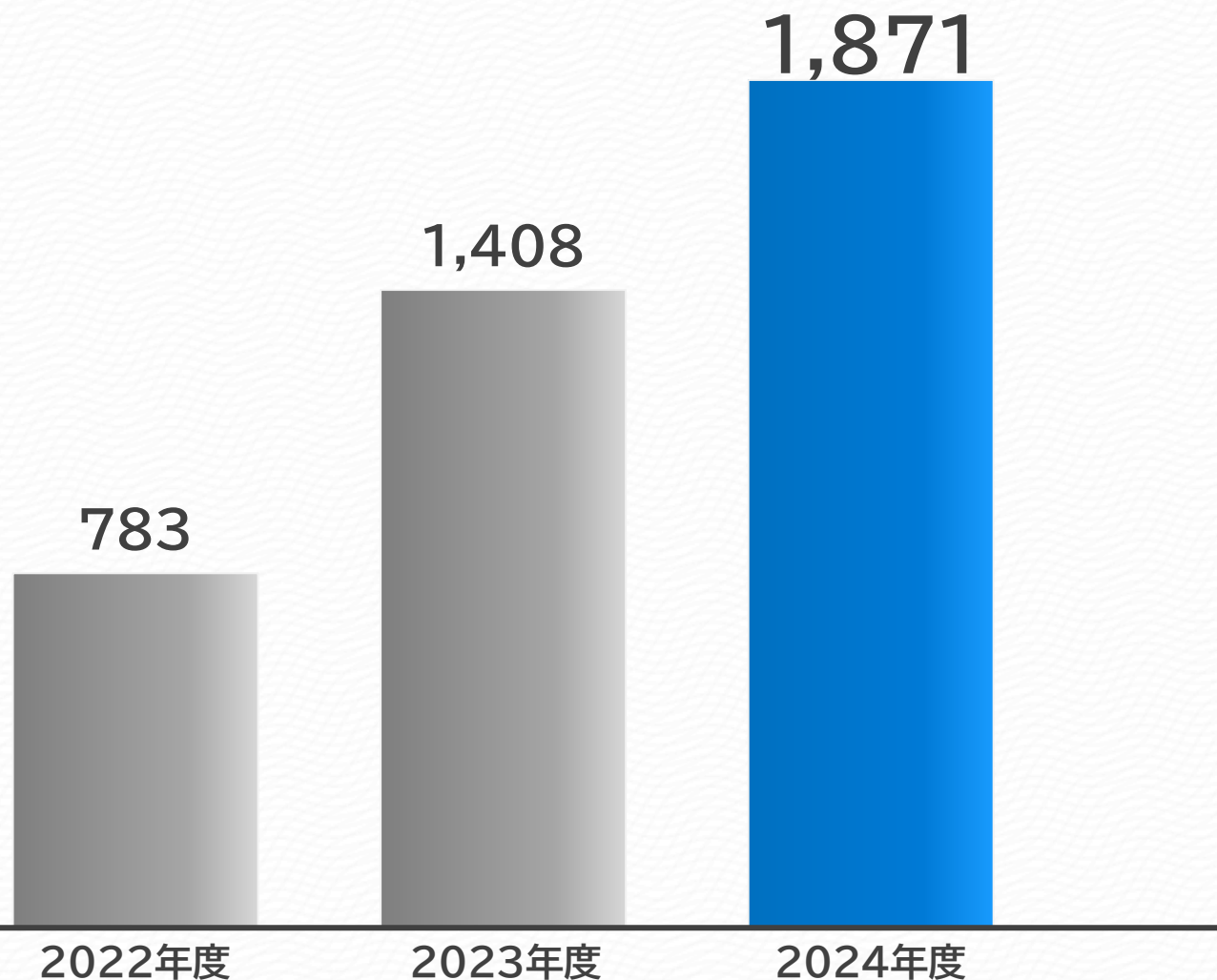
年間売上高
ライセンスおよびその他の収入
ロイヤルティー収入
過去最高

(出所) Arm
詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照
「ライセンスおよびその他の収入」は「ロイヤルティー収入」以外の収入を指す。

調整後営業利益 (年度)(米国会計基準)



(\$ M)



前年度比
33%増

(出所) Arm
調整後営業利益は「Non-GAAP Operating Income」を示す。GAAP基準数値とNon-GAAP数値間の差異については、
アームの「FYE25-Q4 Shareholder Letter」を参照
詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照

ロイヤルティー収入の成長ドライバー



コンピュータ・サブシステム(CSS)を 様々な市場向けに展開

大手EV自動車OEMと、初となるオートモーティブ向けCSS契約を締結

New

データセンター

Microsoft、他

モバイル

MediaTek、他

PC

NVIDIA、他

オートモーティブ

大手EV自動車
OEM1社

Armv9のさらなる浸透を加速

主要な市場向けに、Armv9を展開

New

Cortex-X925

モバイルおよびPC向けの
Armv9実装CPU



Neoverseファミリー

データセンターおよび
オートモーティブ向けの
Armv9実装CPU



Cortex-A320

IoTおよびエッジ向けの
最小構成のArmv9実装CPU



エッジでのAI普及がアームの成長を加速



アームのCPUはエッジデバイスに最適

前世代のアームテクノロジーと比較して

電力効率が
50%
向上

前世代のアームテクノロジーと比較して

パフォーマンス
10倍
向上

“AIはあらゆる場所に”
“AIにはアームが不可欠”

アームCEO レネ・ハース CES 2024での発言

(出所) Arm
電力効率が50%向上: 従来製品のCortex-A520と比較して新製品のCortex-A320は50%電力効率が向上
パフォーマンス10倍向上: 従来製品のCortex-A35と比較して新製品のCortex-A320は機械学習処理性能が10倍に向上
CES (Consumer Electronics Show): 全米民生技術協会(CTA)が主催する年1回のテックイベント

2025年度Q1

売上高
前年同期比

\$1,000M ~ \$1,100M
(+6.5% ~ +17.1%)

調整後営業費用

\$625M程度

調整後EPS
(完全希薄化後)

\$0.30 ~ \$0.38

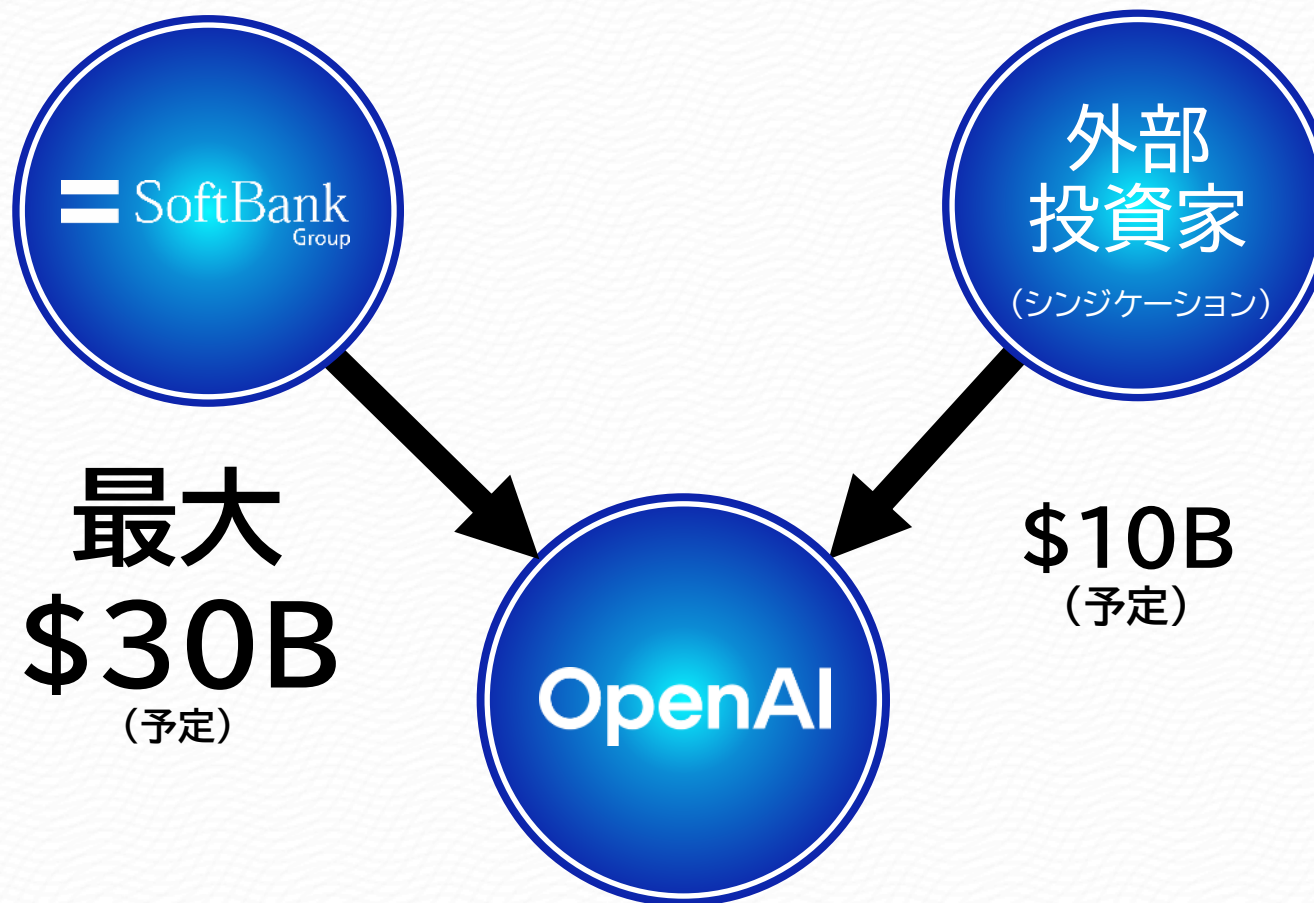
(出所) Arm
調整後営業費用は「Non-GAAP operating expense」、調整後EPS(完全希薄化後)は「Non-GAAP fully diluted earnings per share」を示す。
詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照

OpenAI:追加出資・連携

2025年3月に追加出資コミット

OpenAI

出資コミットメント: 最大\$40B



ファーストクローリングの100億米ドルは2025年4月15日に完了。このうち85億米ドルはSVF2から出資、15億米ドルは外部投資家出資
ファーストクローリングから90日間、SVF2は外部投資家に対して追加で10億米ドルをシンジケーションすることができる。2025年5月9日現在、18.4億米ドルを外部投資家にシンジケーションしており、残りの81.6億米ドルがSVF2の出資額(2025年3月31日付の契約に基づく)
セカンドクローリング(最大300億米ドル)は2025年12月予定
出資条件: OpenAI, Inc.の営利子会社であるOpenAI Globalにおいて、同社の経済的分配構造(同社のLLC Agreementに定めるいわゆる「エコノミック・ウォーターフォール」)の廃止及び新会社の優先株式の発行等(以下「本出資条件」)が完了した時期に応じて、以下の金額
1. 2025年末または特定の状況下では2026年の早い時期までに完了した場合、最大300億米ドル
2. 2025年末または特定の状況下では2026年の早い時期までに完了しない場合、100億米ドル
詳細は、2025年4月1日付適時開示資料「OpenAIへの追加出資に関するお知らせ」を参照

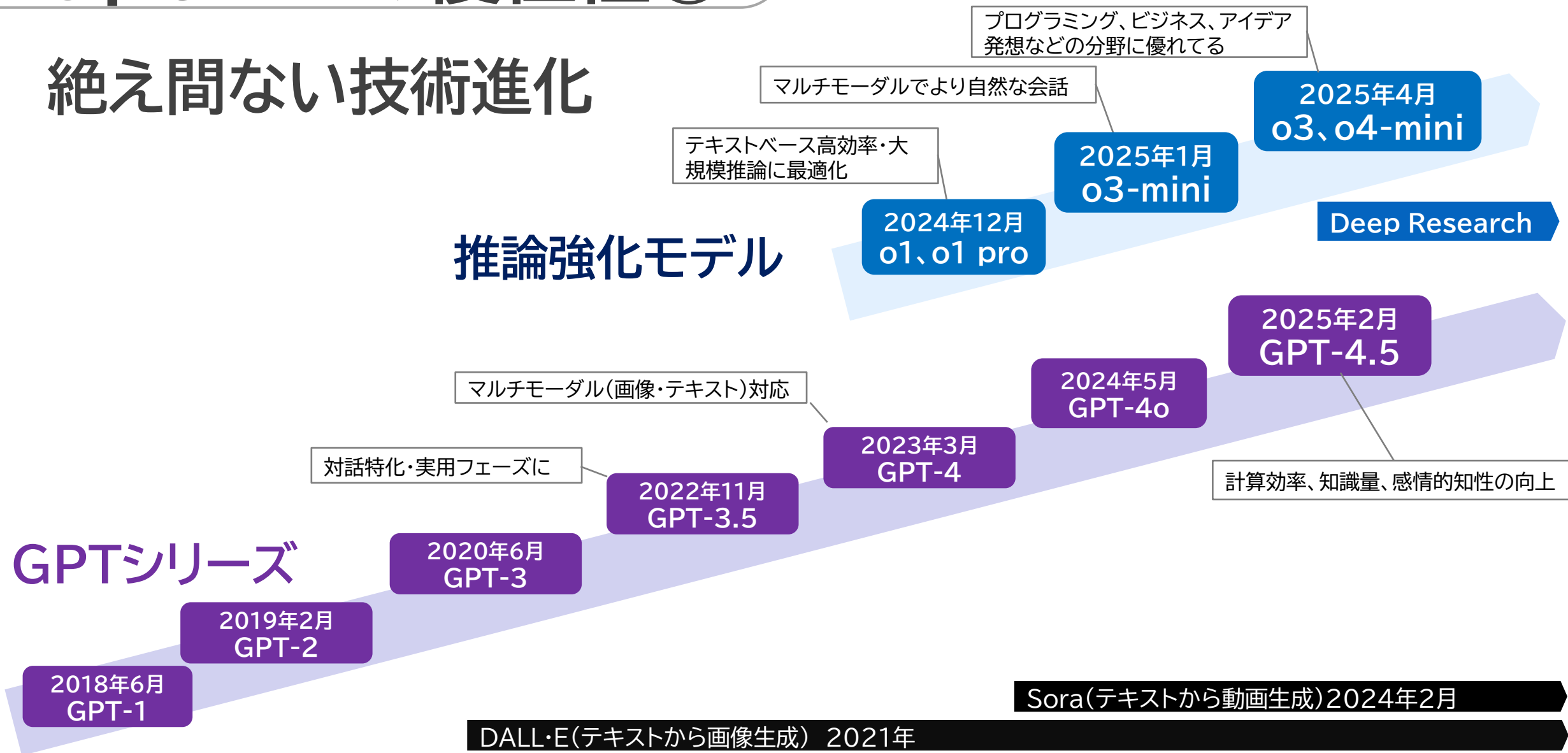
OpenAIの優位性①

OpenAI

絶え間ない技術進化

推論強化モデル

GPTシリーズ



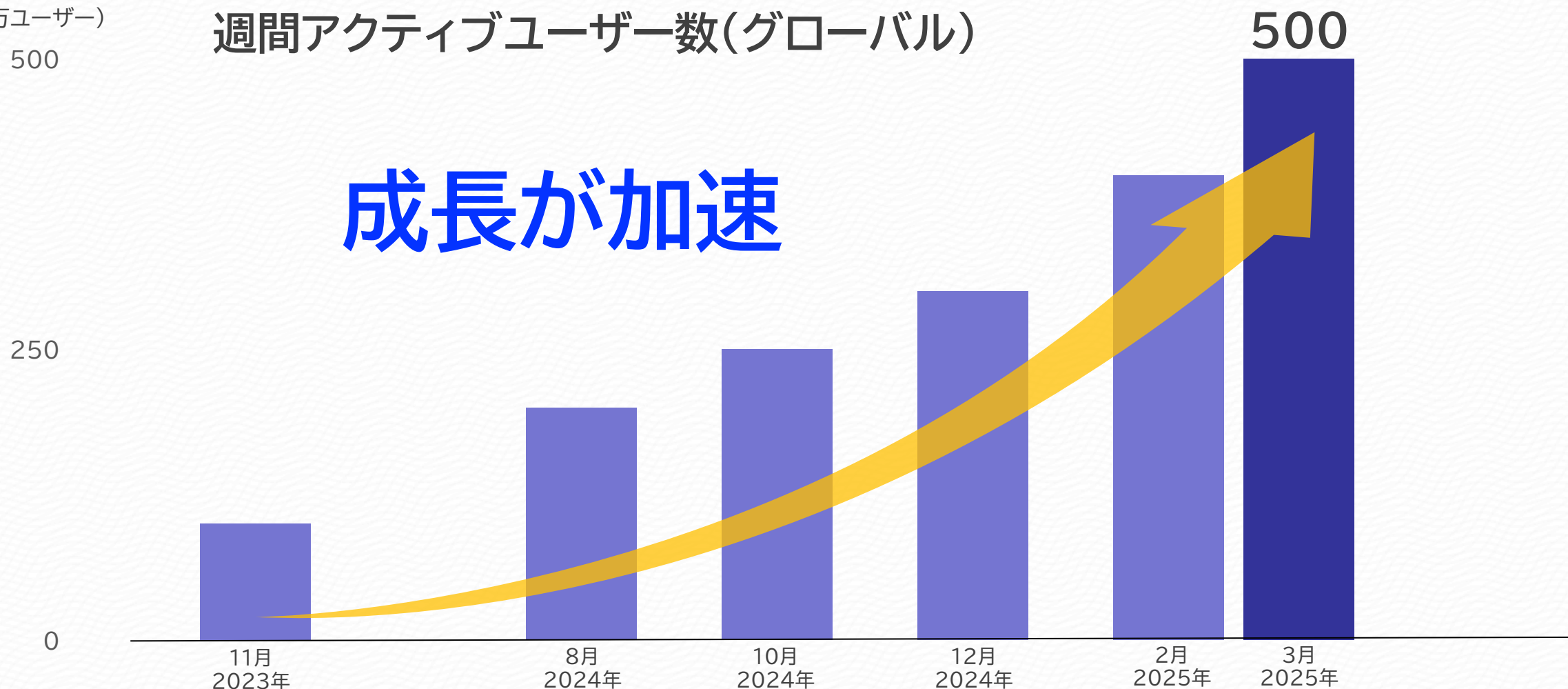
OpenAIの優位性②

OpenAI

(百万ユーザー)
500

週間アクティブユーザー数(グローバル)

成長が加速



Stargate: AIの進化・価値向上の基盤

Stargate



開発・強化リソース

AIチップ

電力

OpenAI

社会を変革へ

(主なシナジーが期待される投資先)

ロボット・自動運転



アプリケーション

ContractPodAi

databricks

AIサービス

クリスタル・インテリジェンス

新エネルギー



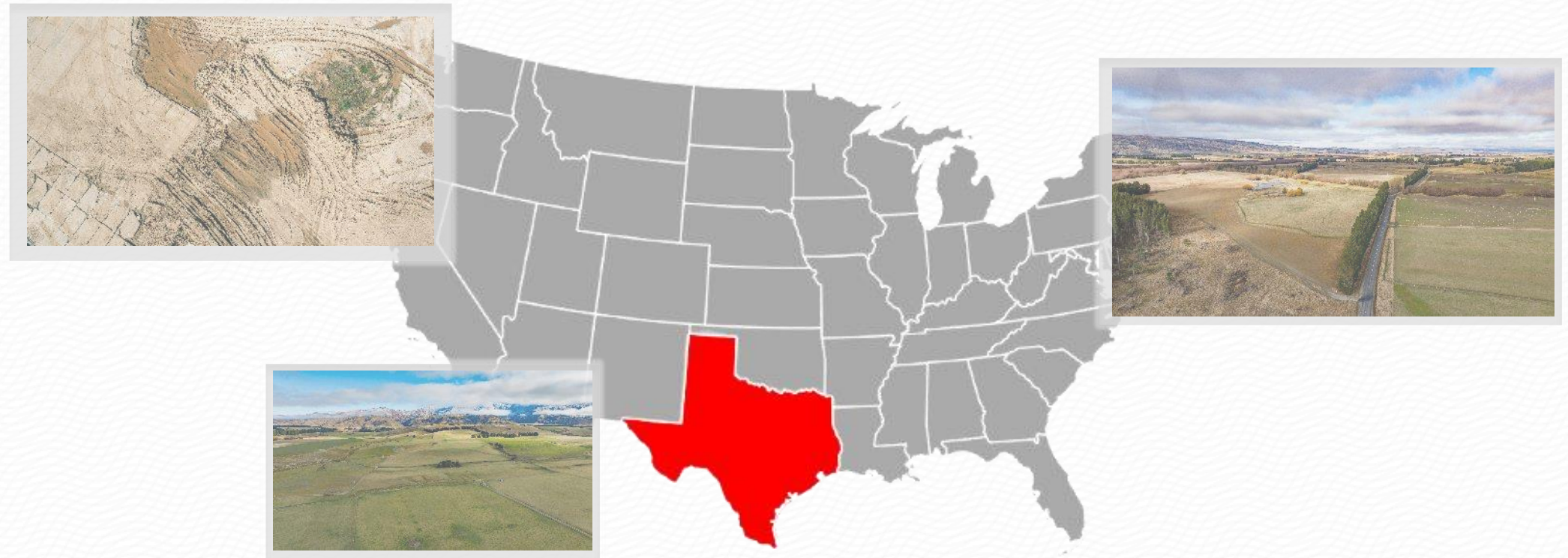
AI創薬



クリスタル・インテリジェンスは仮称であり、正式名称ではない

Stargateの進捗

現在、テキサス州にて複数のプロジェクトが稼働に向け進行中
このほか、全米各地から100件以上の提案があり、複数サイトの
デューデリジェンスを実施中



クリスタル・インテリジェンスの概要

- ・ ソフトバンクグループとOpenAIが企業向け最先端AIエージェントの販売・開発に関する提携に合意
- ・ 個々の企業すべてのシステム、データを安全に統合し、当該企業専用にカスタマイズ
- ・ クリスタル・インテリジェンスを国内大手企業に独占販売する合併会社をOpenAIと設立へ



AIエージェント＝環境を認識し、判断し、学習して行動できる自律的なAIシステム

クリスタル・インテリジェンスで目指す企業経営

全体最適 + 事業創造で、経営の変革を目指す

Phase1:現在

Phase2:新規

Phase3:企業AI



個別最適

全体最適

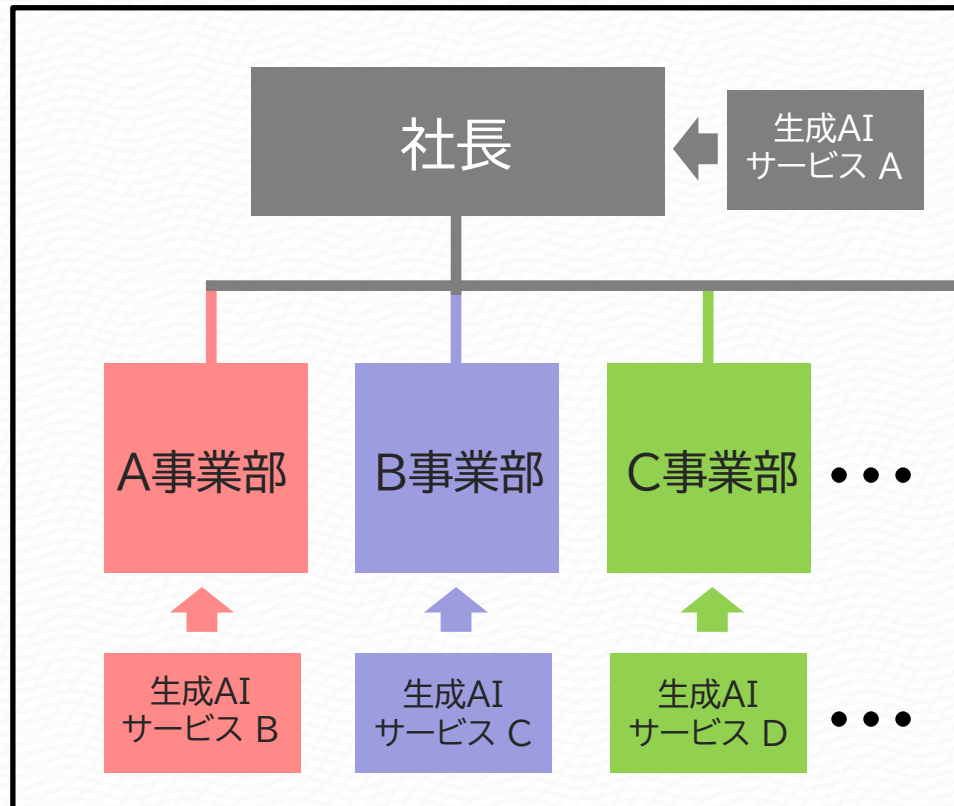
業務効率改善

+ 事業創造
= 経営変革

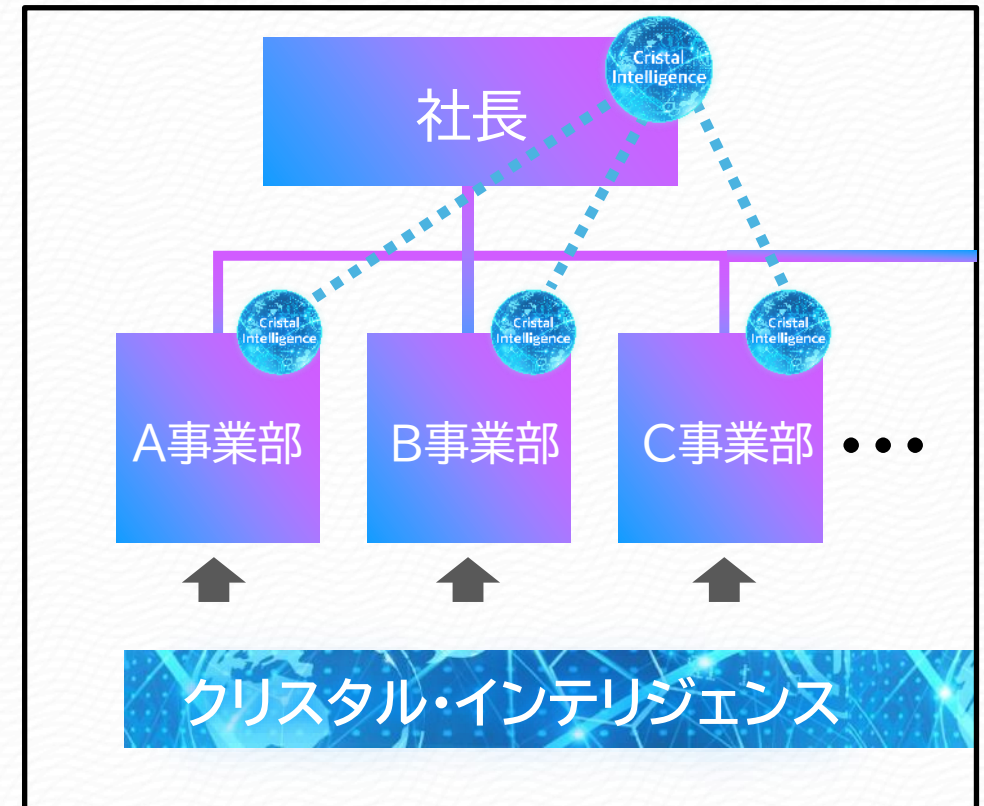
クリスタル・インテリジェンスで目指す企業経営

個別最適から、AI同士の連携で全体最適化し、経営を変革

従来のAI導入



クリスタル・インテリジェンス



Ampereの買収

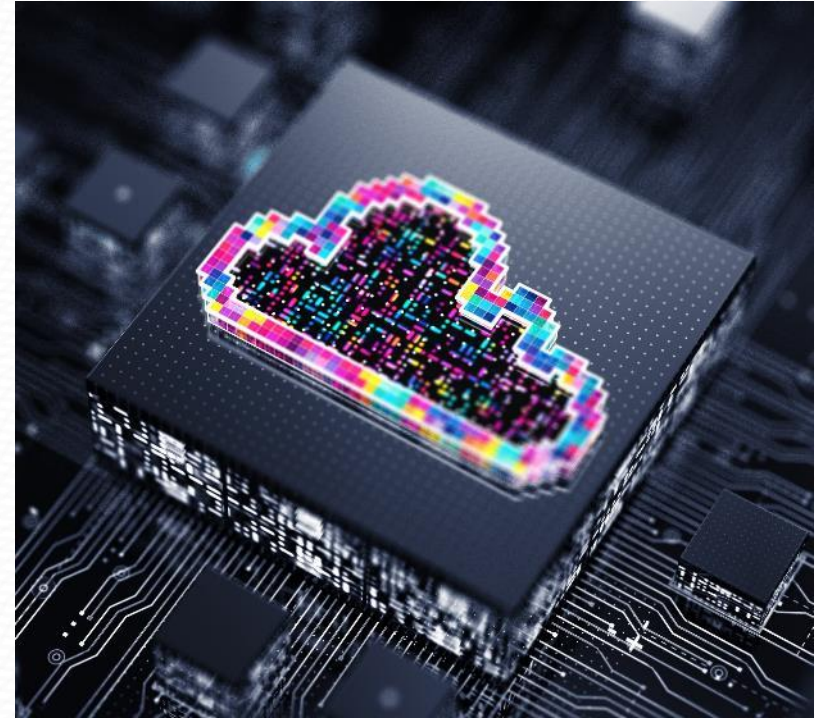
2025年3月19日
総額\$6.5Bで全持分取得に合意



2025年後半に取得完了見込み

約1,000人のエンジニアを擁する クラウド・AI特化型の半導体設計企業

設立	2018年
本社	米国、カリフォルニア州
事業内容	クラウド・AI向けのアームベース サーバーチップを設計
従業員数 (うちエンジニア)	約1,400人 (約1,000人)



優秀な
エンジニア確保

テープアウト
(設計完了→ファウンドリへのデータ送付)
の確かな実績

アームの
設計力を補完

ASI実現に向け
グループの半導体ビジネスを強化

グループのAI戦略のビジョン

AI アプリケーション

クリスタル・インテリジェンスを
はじめとする多種多様なサービス

AI モデル

OpenAI

AI データセンター

Stargate

AI 計算能力

arm

GRAFHCORE


AMPERE®

グループでAI計算能力を強化

グループ総勢約**8,400**人の半導体エンジニア



arm

約**7,000**人



GRAPHCORE

約**400**人



AMPERE®

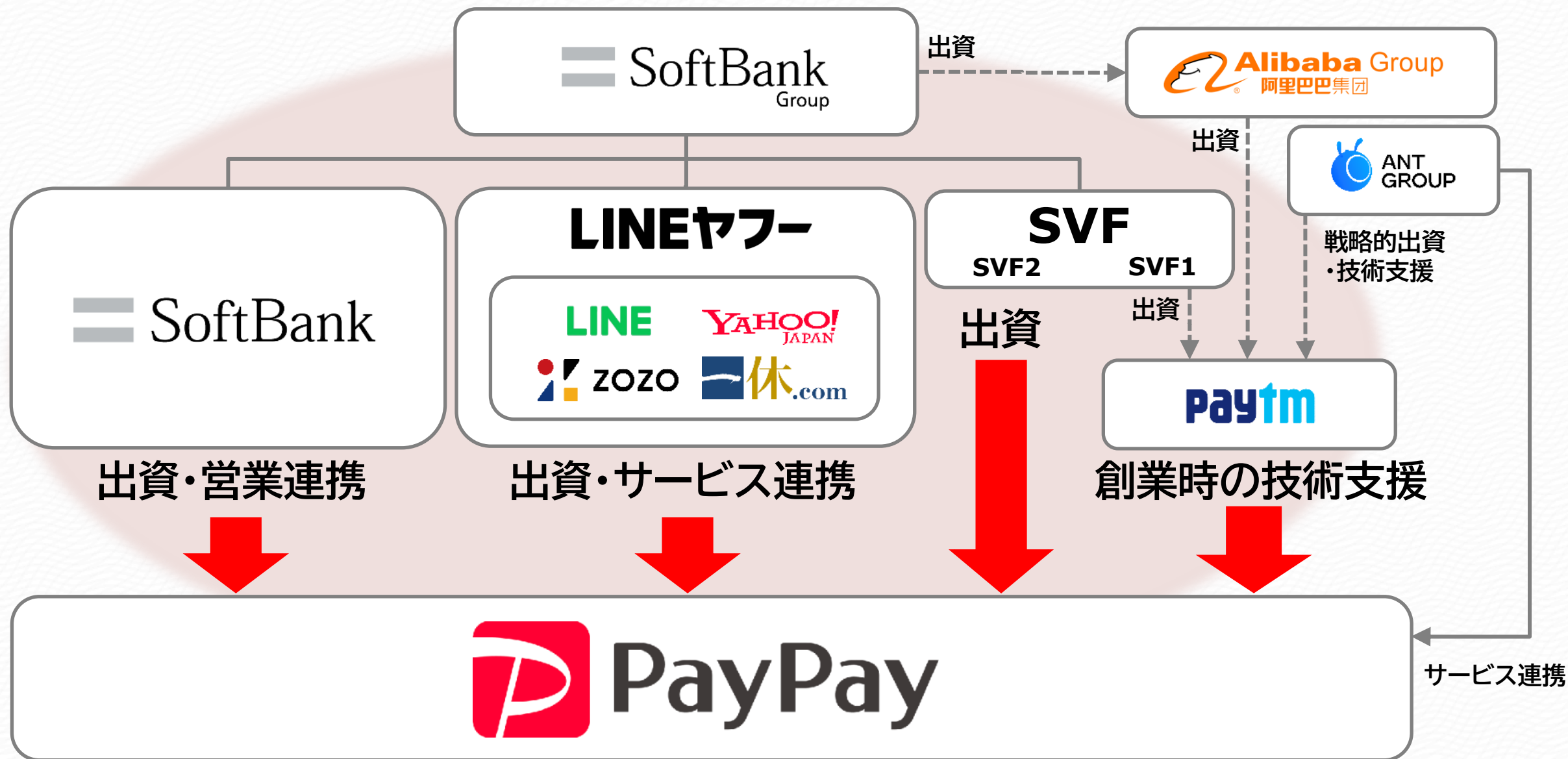
約**1,000**人





上場準備開始

グループ総力を結集

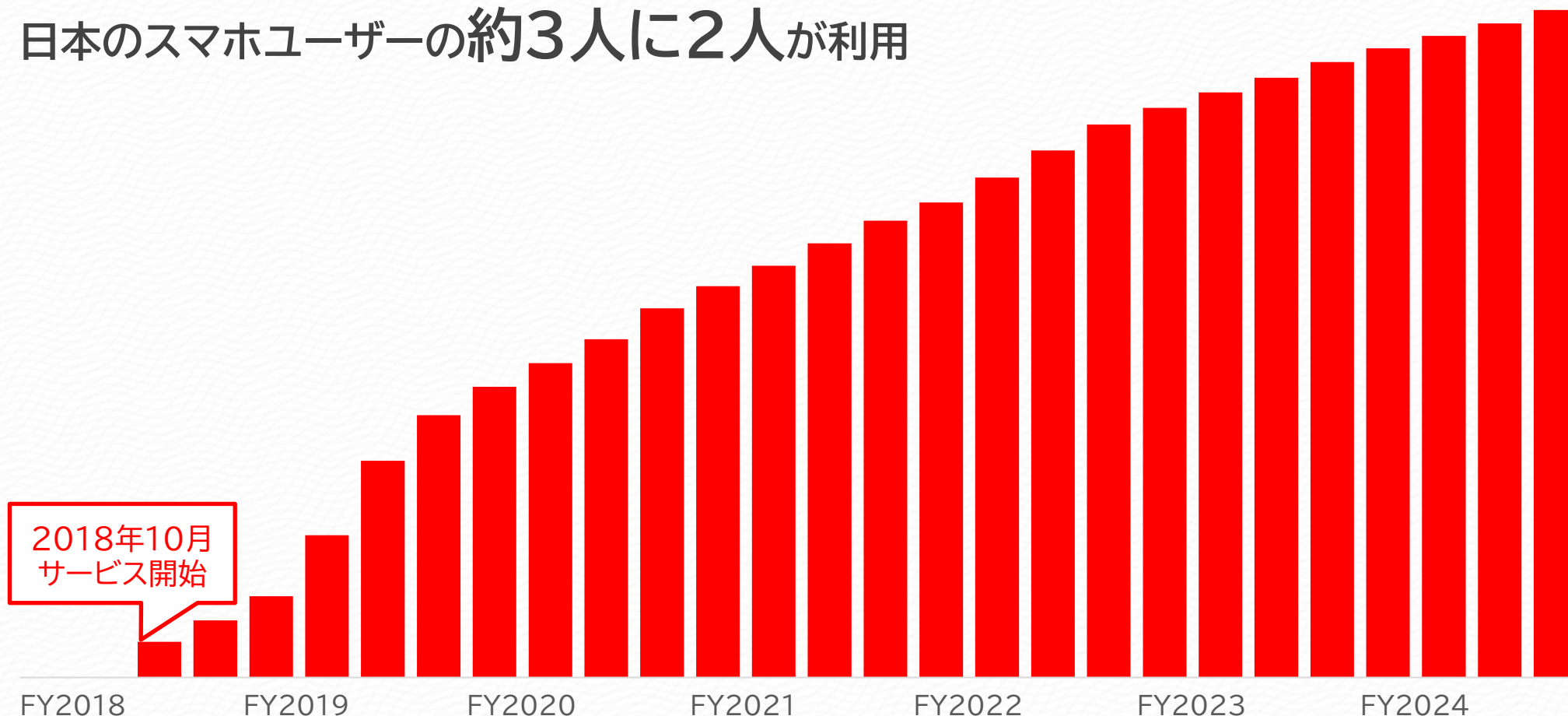


Paytm: Paytmが保有していたPayPay新株予約権はSVF2へ売却済み

登録ユーザー数

サービス開始から6年半で
日本の人口の約2人に1人以上
日本のスマホユーザーの約3人に2人が利用

6,838万人



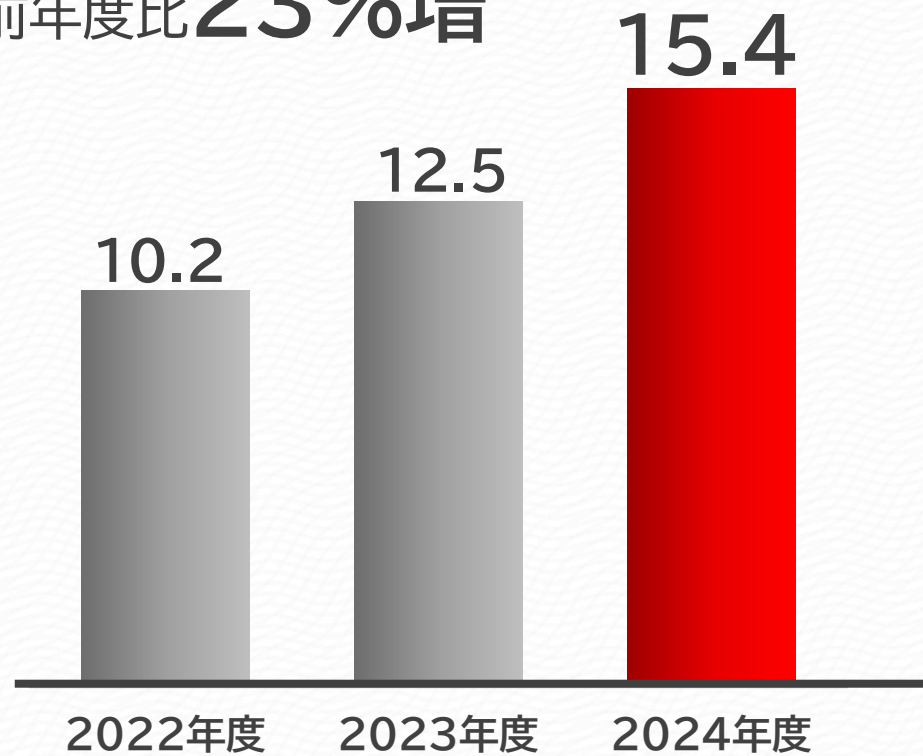
(出所) PayPay株式会社
日本の人口の約2人に1人以上: 総務省統計局「人口推計(2024年(令和6年)11月確定値)」を基に、当社算出。
日本のスマホユーザーの約3人に2人が利用: 総務省統計局「人口推計-2023年(令和5年)10月報-」および総務省「令和5年通信利用動向調査」の「1.情報通信機器の保有状況」を基に、PayPay㈱にて算出。

主要連結経営指標



決済取扱高(GMV) (兆円)

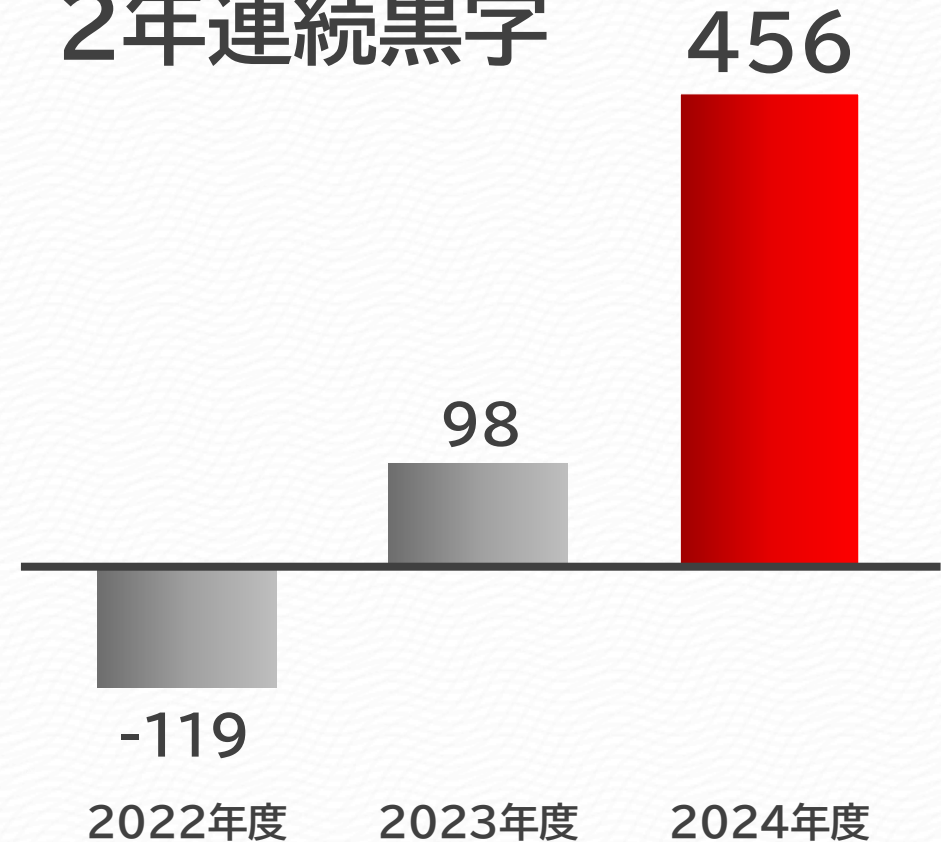
前年度比**23%増**



(出所) PayPay株式会社
ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用を含まない。
「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済および「PayPayクレジット(旧あと払い)」による決済を含む。
PayPayカード側の決済取扱高をPayPay側の決済取扱高と合算し、PayPay側とPayPayカード側の内部取引を消去

EBITDA(億円)

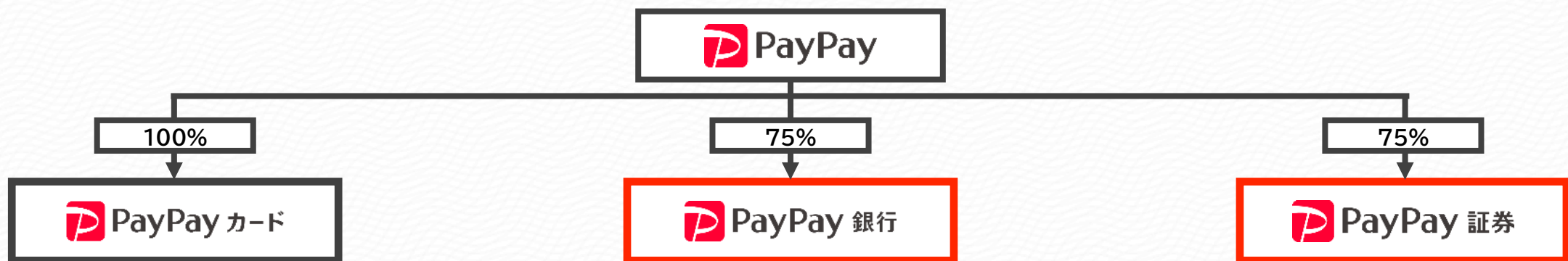
2年連続黒字



(出所) PayPay株式会社
持分プーリング法の適用により、PayPayカード株式会社の財務諸表を2021年度期初から連結
EBITDAは営業利益に減価償却費および固定資産除却損を足して算出、IFRS、非監査

金融ビジネスの再編完了(2025年4月)

決済アプリからデジタル金融プラットフォームへ



子会社化完了

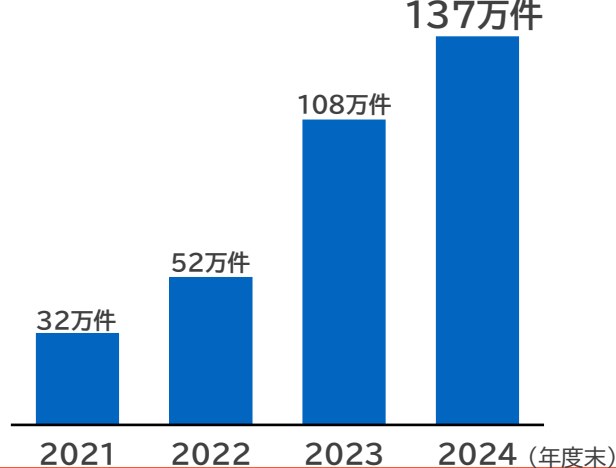
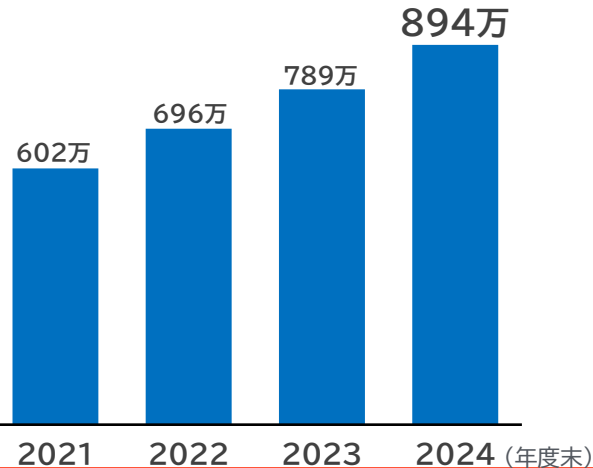
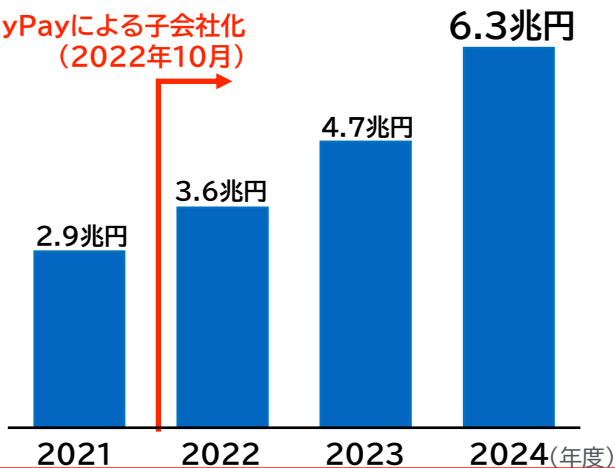
子会社化完了

クレジットカード取扱高

口座数

開設口座数

PayPayによる子会社化
(2022年10月)



PayPay銀行75%: 優先株転換後(優先株転換前 47%)
クレジットカード取扱高: ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用およびキャッシングは含まない。「PayPayクレジット(旧あと払い)」による決済を含む

財務戦略

財務方針

迅速に守りの財務運営に切り替えられるように
万全の準備を整える

財務方針に変更なし

- ✓ 通常時 **LTV25%未満** で運用（異常時でも上限35%）
- ✓ 少なくとも **2年分の社債償還資金** を保持

2025年度の財務戦略

不確実性の高い環境下、慎重かつ大胆に財務活動を展開し、NAV成長の礎を築く

SBG財務運営の「強み」をフル活用 — 長年培った財務の土壌をさらに深耕

投資

経営とシンクロしながら市場変動に即応

- 原則、投資機会を優先。NAV成長で更なる株主還元と財務改善を実現
- 「投資時期」「資金調達手段」の分散によってあらゆる状況への対応余地を確保。市場急変時には速やかに投資ペース調整

調達

多様な手法を活用して投資資金を確保

- ニーズに合った社債・ローン商品を整え、大型調達を実行
- 安定した社債調達基盤や一層強化された銀行リレーションを最大限活用

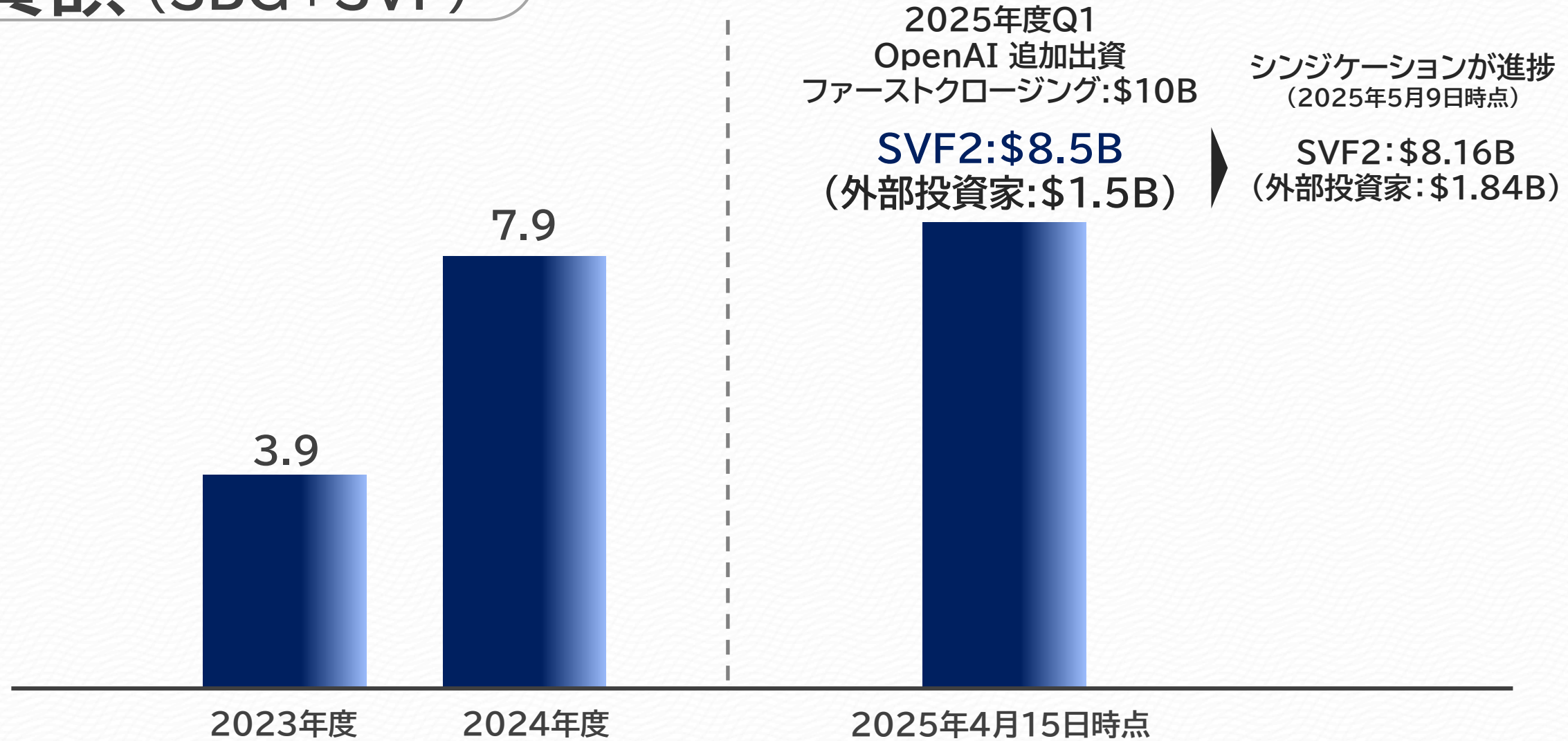
LTV

LTVの徹底管理を継続

- 投資実行と市場悪化により、LTVにストレスが掛かることも想定。常に多種多様な調達手法を準備

投資額 (SBG+SVF)

(\$ B)



SBG投資額:SBGおよび主な100%子会社からの投資額(米国債への投資を除く)+Berkshire Grey(2023年度Q2)、Balyo(2023年度Q3)、SBE Global (2024年度Q2)およびGraphcore (2024年度Q2)の子会社化に伴う外部株主への支出額と各社が保有していた現金及び現金同等物との差額。グループ内取引に伴う投資額を除く。

SVF投資額:SVF2およびLatAmファンドにおける新規および既存投資先への追加投資の合計。株式交換を含む。SVF内での移管およびSBGからSVF2への移管に伴う投資額を除く(詳細は2025年3月期決算短信17p参照)。

\$8.5B:ファーストクロージングの100億米ドルは2025年4月15日に完了。このうち85億米ドルはSVF2から出資、15米ドルは外部投資家出資

シンジケーション:ファーストクロージングから90日間、SVF2は外部投資家に対して追加で10億米ドルをシンジケーションすることができる。2025年5月9日現在、18.4億米ドルを外部投資家にシンジケーションしており、残りの81.6億米ドルがSVF2の出資額(2025年3月31日付の契約に基づく)

ブリッジローン

2025年4月借入契約締結

Ampere買収



\$6.5B
コミットメント

OpenAI追加出資
(ファーストクロージング)



\$8.5B
借入実行済

参加金融機関21社

自己株式の取得



最大5,000億円:2024年8月7日の取締役会で決議された自己株式の取得枠
詳細は、2024年8月7日付プレスリリース「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」を参照

配当

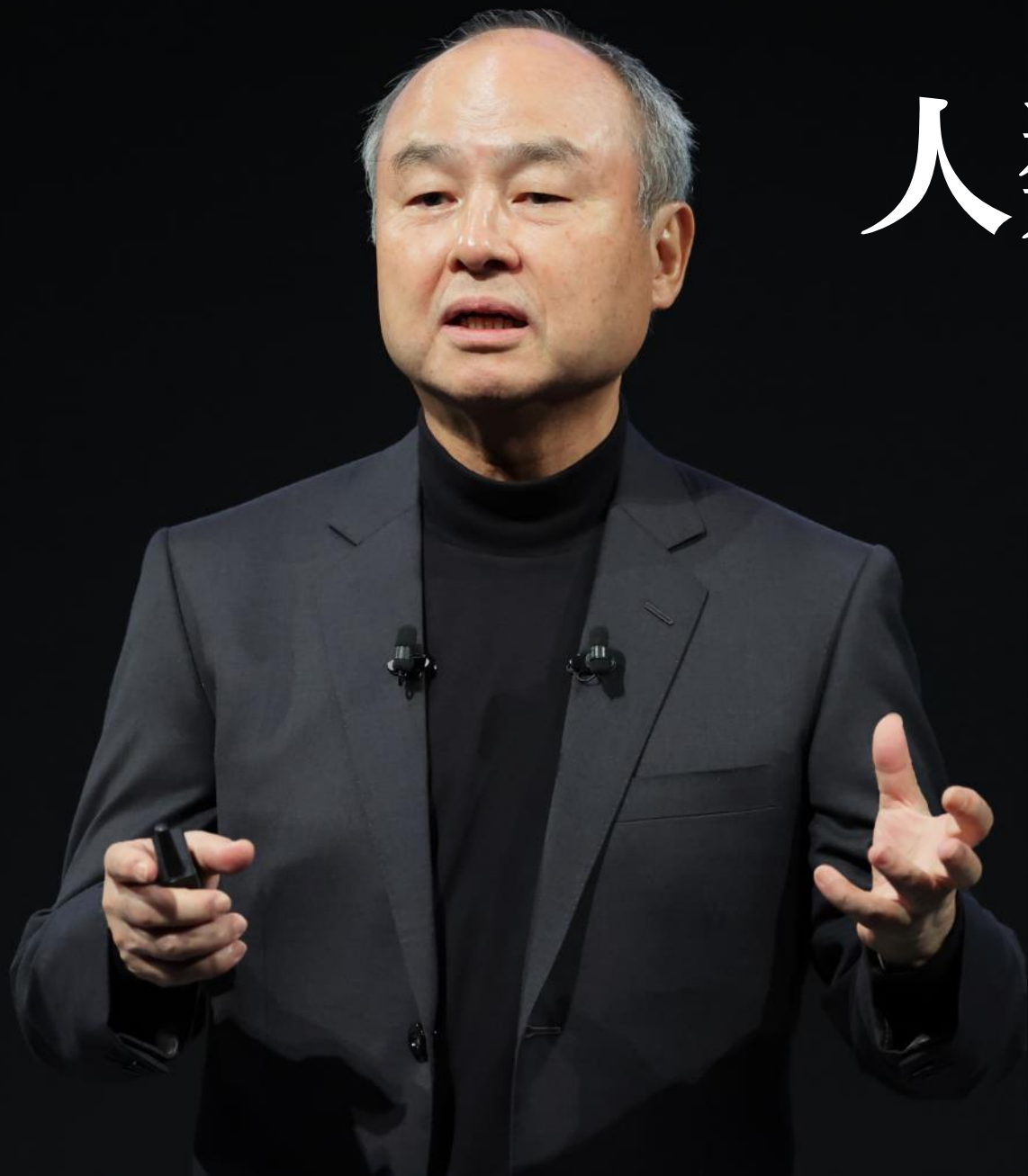
1株当たり配当額に変更なし

	2024年度 (予定)	2025年度 (予想)
中間	22円	22円
期末	22円	22円
年間	44円	44円
配当金総額	635億円	—

2024年度期末配当: 1株当たり22円で定時株主総会(2025年6月27日開催予定)に付議することを2025年4月25日開催の取締役会で決議したもの。当該定時株主総会の承認を条件とする
2025年度配当: 2025年4月25日時点での予想金額

2024年度決算まとめ

- 1 テック株下落によりNAVは25.7兆円(前年度末比2.1兆円減)
- 2 LTV・手元流動性の財務方針を堅持 ➡ 2025年度も方針不変
- 3 当期純利益1.15兆円(前年度比1.38兆円改善)。4年ぶりの黒字
- 4 ASI実現に前進: Stargate発表、OpenAIへの追加出資決定



人類の進化のために ASIを実現

情報革命の中心の変遷

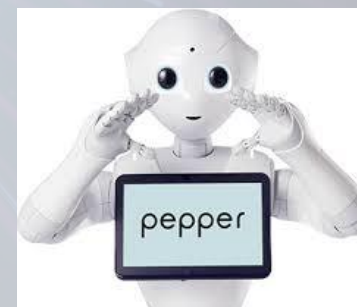
PC

インターネット

ブロードバンド

スマートフォン

AI



AIチップ

AIデータ
センター

ASI

Artificial Super
Intelligence

AIロボット

電力

ASI実現をグループ総力で推進

2024年3月末(1年前)

AIチップ
arm

AIデータセンター

AIモデル

AIロボット

 SoftBank
Robotics

 BERKSHIRE
GREY

 AutoStore

 AGILE ROBOTS

BALYO

電力

 SB Energy

アプリケーション

ContractPod**Ai**

創薬・ヘルスケア

 XtalPi

 Ventus
INTEGRATED

AIサービス

自動運転

 WAYVE

 mapbox

 DiDi

フィンテック

 PayPay

Revolut

Klarna

現在

AIチップ



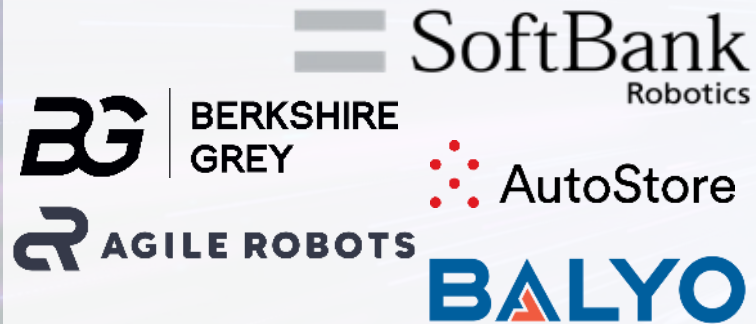
AIデータセンター

Stargate

AIモデル

OpenAI

AIロボット



電力



アプリケーション



創薬・ヘルスケア



AIサービス

クリスタル・
インテリジェンス

自動運転



フィンテック



クリスタル・インテリジェンスは仮称であり、正式名称ではない

18年前

2007年3月期決算説明会資料(2007年5月8日)

ソフトバンクの主戦場

＝ SoftBank

＝ SoftBank

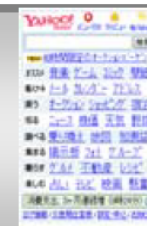
コンテンツ



ポータル

YAHOO!
JAPAN

Y!
Keitai



インフラ

他社

他社

＝ SoftBank

現在

アプリケーション	創薬・ヘルスケア	AIサービス	自動運転	フィンテック
 	 TEMPUS  Ventus THERAPEUTICS 	クリスタル・ インテリジェンス	 WAYVE  mapbox  DiDi	 PayPay Revolut Klarna

AIモデル

OpenAI

他社

他社

AIチップ	AIロボット	AIインフラ	AIデータセンター	電力
  GRAPHCORE	    BALYO	Stargate	 SB Energy  HELION	他社



ASI

グループ総力を挙げてASI実現へ



情報革命で人々を幸せに





Appendix

NAV・LTVの定義及び算出方法（2025年3月末時点）

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- アーム: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - グループ内取引によりSVF1から取得した同社株式の未払金残高 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- Tモバイル: SBGの保有株式数 × 同社株価
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - 同社株式を活用した複数の先渡売買契約(フォワード契約)のうち未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額
- その他: (a) + (b) + (c)
 - (a) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
 - (b) 非上場株式: SBGが保有する非上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (c) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分。

3. 純負債(アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: アーム、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びソフトバンク(同子会社を含む)等の独立採算子会社等の有利子負債合計から現預金等合計を減算
- その他調整: 以下の(d)~(i)の調整額の合計
 - (d) ハイブリッド債及びハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除(対象社債: 第4回円建ハイブリッド債、第5回円建ハイブリッド債、第6回円建ハイブリッド債)
 - (e) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入(対象社債: 米ドル建ノンコール10年永久劣後社債)
 - (f) アーム株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
 - (g) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
 - (h) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (i) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- $LTV = \text{純負債} \div \text{保有株式}$

5. その他

- 株価: 2025年3月31日終値
- 為替: 1ドル = 149.52円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アーム = Arm Holdings plc、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アリババ = Alibaba Group Holding Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

NAV・LTVの定義及び算出方法（試算値 2025年3月末ベース）

1. NAV（Net Asset Value: 時価純資産）

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- アーム: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - グループ内取引によりSVF1から取得した同社株式の未払金残高 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- Tモバイル: SBGの保有株式数 × 同社株価
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - 同社株式を活用した複数の先渡売買契約(フォワード契約)のうち未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額
- その他: (a) + (b) + (c)
 - (a) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
 - (b) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (c) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分。

3. 純負債（アセットバック・ファイナンス調整後）

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: アーム、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びソフトバンク(同子会社を含む)等の独立採算子会社等の有利子負債合計から現預金等合計を減算
- その他調整: 以下の(d)～(i)の調整額の合計
 - (d) ハイブリッド債及びハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除(対象社債: 第4回円建ハイブリッド債、第5回円建ハイブリッド債、第6回円建ハイブリッド債)
 - (e) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入(対象社債: 米ドル建ノンコール10年永久劣後社債)
 - (f) アーム株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
 - (g) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
 - (h) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (i) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除

4. LTV（純負債／保有株式）

- $LTV = \text{純負債} \div \text{保有株式}$

5. その他

- 株価: アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム及びアリババについては2025年5月12日終値、その他の上場株式については2025年3月31日終値
- 為替: 1ドル = 145.96円
- 2025年4月に実行した\$8.5BのOpenAI投資を保有株式に、同額借入を純負債に加算して試算値を算出

- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アーム = Arm Holdings plc、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アリババ = Alibaba Group Holding Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

NAV・LTVの定義及び算出方法（2024年3月末時点）

1. NAV（Net Asset Value: 時価純資産）

- NAV = 保有株式 - 純負債
- ## 2. 保有株式（保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後）
- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち未決済分の満期決済金額（同社株価で算出）の合計額
 - ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等
 - SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
 - SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
 - LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
 - Tモバイル: (a) - (b) - (c)
 - (a) SBGの保有株式数（ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象株式数を含む） × 同社株価
 - (b) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (c) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約（カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出）
 - ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
 - アーム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - グループ内取引によりSVF1から取得した同社株式の未払金残高 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
 - その他: (d) + (e) + (f)
 - (d) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
 - (e) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出
 - (f) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分 + SBGが保有するNVIDIA Corporation株式の公正価値。なおSB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）はSBGの純有利子負債の一部と見なし、同社NAVの算出には含めない。

3. 純負債（アセットバック・ファイナンス調整後）

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: ソフトバンク（LINEヤフー株式会社及び及びPayPay株式会社をはじめとする子会社を含む）、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びアーム等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
 - なお、SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）をSBGの純有利子負債の一部と見なす。
- その他調整: 以下の(g)～(m)の調整額の合計
 - (g) ハイブリッド債およびハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除（対象社債: 第4回円建ハイブリッド債、第5回円建ハイブリッド債、第6回円建ハイブリッド債）
 - (h) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入（対象社債: 米ドル建ノンコール10年永久劣後社債）
 - (i) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (j) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等を控除
 - (k) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約（カラー契約）に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (l) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (m) アーム株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除

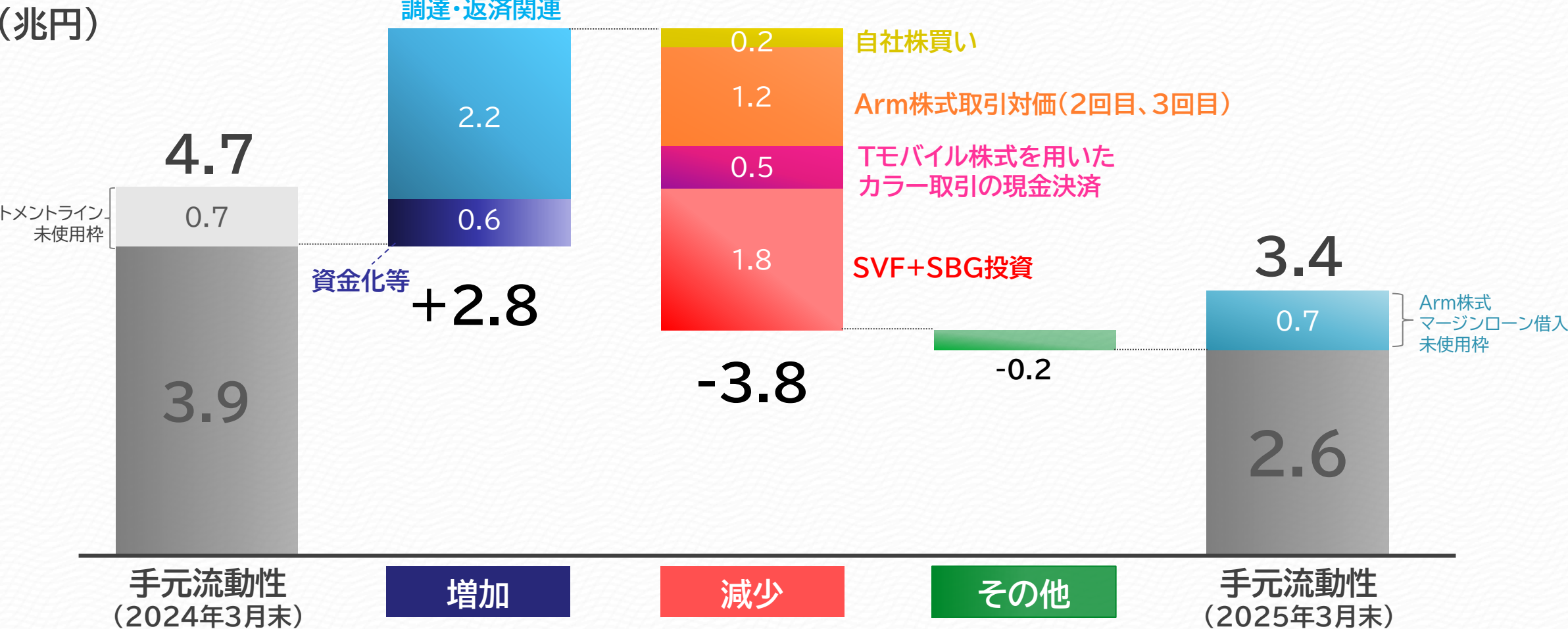
4. LTV（純負債／保有株式）

- $LTV = \text{純負債} \div \text{保有株式}$

5. その他

- 株価: 2024年3月29日終値
- 為替: 1ドル = 151.41円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド
- Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Holdings plc
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

資金化と資本配分（2024年度）



各四半期の平均レート等により円換算
手元流動性＝現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋債券投資＋借入枠の未使用金額（コミットメントラインおよびアーム株式を活用したマージンローン）。2025年3月末時点でコミットメントラインは全額使用、アーム株式を活用したマージンローンのうち\$5.0Bは未使用。SBG単体ベース
SBG単体：連結グループから独立採算子会社を除いたベース。独立採算子会社は、ソフトバンク、SVF、アーム等
資金化等：Fortress株式、Tモバイル株式の売却、SVF1からの分配（+\$1.3B）、SVF2からの分配（+\$71M）、LatAmファンドからの分配（+\$0.3B）を含む
調達・返済関連：SBG国内普通社債発行（+¥1.0T）、外貨建普通社債発行（+\$0.9B、+€0.9B）、SBGタームローン調達（+\$2.9B、+¥135.0Bと¥84.0Bのネット）、SBGの社債償還・買入（国内普通社債（-¥450.0B）の満期償還および米ドル建普通社債（-\$0.8B）の期限前償還、米ドル建て普通社債（-\$0.4）の満期償還、ユーロ建て普通社債（-€0.6B）の満期償還等）、ソフトバンク株式を利用したマージンローンの増額リファイナンス等をネットして記載
Tモバイル株式を用いたカラー取引の現金決済：現金決済のための支出（-¥548.4B）
自社株買い：2025年3月31日時点の累計取得額（-¥237.0B）
Arm株式取引対価2回目および3回目（各-\$4.1B）
SVF+SBG投資：SVF+SBG投資（-\$7.9B）および資産運用子会社からの投資等
SBG投資額：SBGおよび主な100%子会社からの投資額（米国債への投資を除く）。グループ内取引に伴う投資額を除く

SVF1:投資損益

USDベース
(SVFセグメント)

2024年度Q3 (計-\$1,032M)				2024年度Q4 (計+\$1,848M)				
	実現損益	未実現損益		その他	実現損益	未実現損益		その他
価値増	+\$401M	+\$1,028M (17社)		+\$21M	+\$214M	+\$3,077M (20社)		+\$1M
		+\$812 _M (8社)	+\$11 _M (1社)	+\$13 _M (1社)	+\$33 _M (3社)	+\$118 _M (4社)	+\$42 _M	
		エグジット済	公開投資先	未公開投資先		エグジットに伴う 過年度計上額の 実現損益 への振替	デリバティブ/ 配当金	
			直近取引	投資先業績	市場要因	その他		
		(9社)	(2社)	(8社)	(3社)	(6社)		
		-\$1,207 _M	-\$6 _M	-\$533 _M	-\$364 _M	-\$74 _M	-\$254 _M	
価値減	-\$31M	-\$2,438M (28社)		-\$13M	-\$333M	-\$1,110M (17社)		—
		+\$864 _M (8社)	+\$130 _M (3社)	+\$147 _M (6社)	+\$1,565 _M (3社)	— (-)	+\$370 _M	
		エグジット済	公開投資先	未公開投資先		エグジットに伴う 過年度計上額の 実現損益 への振替	デリバティブ/ 配当金	
			直近取引	投資先業績	市場要因	その他		
		(9社)	(-)	(6社)	(2社)	(-)		
		-\$709 _M	—	-\$197 _M	-\$116 _M	—	-\$89 _M	

投資損益:SVF1からの投資損益(セグメント情報。デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
各投資先の2024年度Q3および2024年度Q4における価値変動の主要因について、SBGAおよびSBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示
実現損益(エグジット済):投資のエグジット金額から投資額を差し引いた金額。公開投資先:店頭市場で取引されている投資先を含む。市場要因:類似企業株価比較、資本コストの変動などによる価値変動を含む。その他:為替影響などを含む。
エグジットに伴う過年度計上額の実現損益への振替:2024年度Q3および2024年度Q4にエグジットした投資の未実現評価損益過去計上額の実現損益への振替。デリバティブ/配当金:「投資に係るデリバティブ関連損益」、「投資先からの利息および配当金」

SVF2:投資損益

USDベース
(SVFセグメント)

	2024年度Q3 (計-\$1,169M)				2024年度Q4 (計-\$708M)								
	実現損益	未実現損益			その他	実現損益	未実現損益			その他			
価値増	+\$37M	+\$1,458M (72社)			+\$38M	+\$47M	+\$2,280M (66社)			+\$75M			
		+\$149M (7社)	+\$340M (9社)	+\$235M (14社)	+\$193M (34社)	+\$11M (8社)	+\$530M	+\$114M (4社)	+\$1,220M (10社)	+\$438M (23社)	+\$49M (11社)	+\$110M (18社)	+\$349M
		エグジット済	公開投資先	未公開投資先		エグジットに伴う 過年度計上額の 実現損益 への振替	デリバティブ/ 配当金	エグジット済	公開投資先	未公開投資先		エグジットに伴う 過年度計上額の 実現損益 への振替	デリバティブ/ 配当金
			直近取引	投資先業績	市場要因	その他			直近取引	投資先業績	市場要因	その他	
		(9社)	(5社)	(52社)	(18社)	(18社)		(13社)	(6社)	(46社)	(51社)	(15社)	
		-\$319M	-\$99M	-\$1,162M	-\$107M	-\$336M	-\$56M	-\$1,045M	-\$229M	-\$781M	-\$520M	-\$108M	-\$54M
価値減	-\$461M	-\$2,079M (102社)			-\$162M	-\$352M	-\$2,736M (131社)	-\$22M					

投資損益:SVF2からの投資損益(セグメント情報。デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
各投資先の2024年度Q3および2024年度Q4における価値変動の主要因について、SBGAおよびSBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示
実現損益(エグジット済):投資のエグジット金額から投資額を差し引いた金額。市場要因:類似企業株価比較、資本コストの変動などによる価値変動を含む。その他:為替影響などを含む。
エグジットに伴う過年度計上額の実現損益への振替:2024年度Q3および2024年度Q4にエグジットした投資の未実現評価損益過去計上額の実現損益への振替。デリバティブ/配当金:「投資に係るデリバティブ関連損益」、「投資先からの利息および配当金」

SVF1:公開株投資先 (2025年3月末時点)

(\$ M)	(a)	(b)	(c) = (b) - (a)	(d) = (b) / (a)
	投資額 ^{*1}	時価(グロス) ^{*2}	損益(グロス)	倍率 ^{*3}
Coupang	2,729	12,405	9,676	4.5x
全部エグジット Doordash	680	7,944	7,264	11.7x
全部エグジット NVIDIA	2,878	5,813	2,936	2.0x
全部エグジット Guardant Health	308	2,665	2,358	8.7x
全部エグジット Uber	7,666	9,215	1,549	1.2x
全部エグジット Slack	334	1,018	684	3.0x
Full Truck Alliance	1,700	2,170	470	1.3x
全部エグジット Ping An Good Doctor	400	828	428	2.1x
全部エグジット PolicyBazaar	199	592	394	3.0x
全部エグジット Opendoor	450	824	374	1.8x
全部エグジット 10x Genomics	31	338	307	10.9x
BrainBees Solutions ^{*4} (FirstCry)	268	559	291	2.1x
Auto1	741	944	202	1.3x
Delhivery	397	555	157	1.4x
Roivant ^{*5}	919	998	79	1.1x
Vir Biotechnology	199	278	79	1.4x
全部エグジット Zomato	309	374	65	1.2x
Energy Vault	60	13	-47	0.2x
Aurora Innovation	333	267	-66	0.8x
OneConnect	100	5	-95	0.1x
全部エグジット ZhongAn	550	400	-150	0.7x
Grab	2,993	2,798	-195	0.9x
Relay Therapeutics	300	73	-227	0.2x

	(a)	(b)	(c) = (b) - (a)	(d) = (b) / (a)
	投資額 ^{*1}	時価(グロス) ^{*2}	損益(グロス)	倍率 ^{*3}
Compass	1,082	825	-257	0.8x
GoTo ^{*6}	841	546	-295	0.6x
Getaround	348	1	-348	0.0x
Ginkgo Bioworks	404	3	-401	0.0x
全部エグジット Paytm	1,600	1,056	-544	0.7x
全部エグジット SenseTime	1,429	849	-580	0.6x
全部エグジット View	1,175	0	-1,175	0.0x
全部エグジット WeWork ^{*7}	3,468	0	-3,468	0.0x
DiDi	12,073	4,687	-7,386	0.4x
(A) 公開株式 合計 (グロス) ^{*8}	\$46,966 (7.0兆円)	\$59,045 (8.8兆円)	\$12,079 (1.8兆円)	1.3x
(B) 未公開株式等 ^{*9}	\$40,596	\$51,935	\$11,338	
(A)+(B) SVF1 合計(SBG目線) ^{*10}	\$87,562	\$110,980	\$23,417	

1ドル=149.52円(2025年3月31日TTM)で換算

投資時点で公開済みの投資先および投資後に非公開化した投資先を含む。全部エグジットした投資先は全部エグジット時の情報を記載

1.投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料 (純額) の合計

2.時価(グロス): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと2025年3月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前

3.倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため未掲載

4.BrainBees Solutions (FirstCry) : SVF1の公開株の投資額からはBrainBees Solutionsの上場前(2024年8月)に実現した\$127Mを除外

5.Roivant: SVF1の公開株の投資額からはRoivantの上場前(2020年3月)に実現した\$116Mを除外

6.GoTo: SVF1の公開株の投資額には、Gojekとの合併前のTokopediaへの投資を反映しており、GoTo上場前に実現した\$7Mを除外

7.WeWork: SVF1の公開株の投資額(\$3,468M)には、WeWork Asia Holding Company B.V.(“WeWork Asia”)への投資額(\$400M)が含まれる。WeWork Asia株式は1株当たり\$11.60で2020年4月にWeWork優先株式に交換

8.公開株式 合計(グロス): 公開株式には店頭市場で取引されているDiDiへの投資を含む。

9.アームを含む。アームの新規株式公開に先立つ2023年8月、当社100%子会社はSVF1が保有していたアームの普通株式の実質的に全てを取得した。

10.SBG目線: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含まない。

累計投資パフォーマンスを純額で表示

2025年3月末時点におけるSVF1に対するSBGからの累計支払額 (純額) (Net Paid-in capital) = \$27.7B、SBGに帰属する価値合計 (Total Value) = \$34.1B。詳細は「2025年3月期決算 投資家向け説明会資料 SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照

SVF2:公開株投資先 (2025年3月末時点)

(\$ M)		(a) 投資額 ^{*1}	(b) 時価 ^{*2} (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 ^{*3}
全部エグジット	Beike	1,350	2,497	1,147	1.8x
	Swiggy Ltd	450	668	218	1.5x
	Symbotic	200	404	204	2.0x
	Metsera	36	131	95	3.6x
	XtalPi ^{*4}	35	54	19	1.5x
全部エグジット	IonQ	61	74	14	1.2x
	Full Truck Alliance	250	259	9	1.0x
	Globalstar ^{*5}	5	7	2	1.3x
全部エグジット	Qualtrics	24	15	-9	0.6x
全部エグジット	Berkshire Grey	115	92	-23	0.8x
	Neumora Therapeutics	60	23	-37	0.4x
	Ola Electric Mobility	556	510	-46	0.9x
全部エグジット	Pear Therapeutics	46	0	-46	0.0x
	Beisen	100	29	-71	0.3x
全部エグジット	Zhangmen	105	1	-104	0.0x
	Alnnovation	126	21	-104	0.2x
	Keep	200	31	-169	0.2x
	Seer	205	9	-196	0.0x
	Recursion Pharmaceuticals	284	78	-207	0.3x
	DingDong Mai Cai	325	38	-287	0.1x
	JD Logistics	601	197	-404	0.3x
	Better	497	14	-483	0.0x
	AutoStore	2,800	972	-1,828	0.3x
全部エグジット	WeWork	3,033	1	-3,032	0.0x
(A)	公開株式 合計 (グロス)	\$11,463 (1.7兆円)	\$6,124 (0.9兆円)	(\$5,339) (-0.8兆円)	0.5x
(B)	未公開株式等 ^{*6}	\$47,677	\$30,099	-\$17,578	
(A)+(B)	SVF2 合計(SBG目線)	\$59,140	\$36,223	-\$22,917	

1ドル=149.52円(2025年3月31日TTM)で換算

投資時点で公開済みの投資先および投資後に非公開化した投資先を含む。投資後に非公開化した投資先には、SBGに全株式を売却した投資先を含む。全部エグジットした投資先は全部エグジット時の情報を反映

1.投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料 (純額) の合計

2.時価(グロス): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと2025年3月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前。

3.倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

4.XtalPi: SVF2の公開株の投資額からはXtalPiの上場前(2023年11月)に実現した\$10Mを除外

5.Globalstar: SVF2の公開株の投資額からはGlobalstarの上場前(2023年8月)に実現した\$5Mを除外

6.SBG目線: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。累計投資パフォーマンスを純額で表示。

2025年3月末時点におけるSVF2に対するSBGからの累計支払額 (純額) (Net Paid-in capital) = \$62.3B、SBGに帰属する価値合計 (Total Value) = \$37.9B。詳細は「2025年3月期決算 投資家向け説明会資料 SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照

SVF1（2025年3月末） （ファンド全体）

普通出資IRR

4%

優先出資IRR

7%

ブレンドIRR

5%

＜公正価値の評価プロセス＞
SBIAは四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)に準拠してSVF1で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。これに並行して、SVF1の投資アドバイザーボード(IAB: Investor Advisory Board)が、独立の投資評価者として複数の外部ファームを選任し、半期ごとにSVF1で実施された投資の独立評価を行っています。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、独立の投資評価者のレポートを十分に考慮の上、SBIAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。SBIAの投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCEOをはじめとするSBIAの上級管理職で構成されています。SBIAの投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はSVF1の独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果はSBIA UK Boardに最終承認されます。

＜公正価値の評価方法＞
SVF1が適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、SVF1はIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法をその手法の一つとし、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

＜投資成績の定義＞
普通出資IRR(LP Net Equity IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分に係る内部収益率を指します。2025年3月末時点での普通出資持分に帰属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1の純資産価値を元に算出されています。
優先出資IRR(LP Net Preferred Equity IRR)とは、諸経費が支払われた後の優先出資持分に係る内部収益率を指します。2025年3月末時点での優先出資持分に帰属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額、SVF1の純資産価値及び引当済かつ未払いの優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)を元に算出されています。なお、これは、Preferred Equity Coupon(分配済み・未払い含む)を反映したものです。
ブレンドIRR(LP Net Blended IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分及び優先出資持分を組み合わせた正味の内部収益率を指します。2025年3月末時点でのリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1の純資産価値を元に算出されています。
“Equity”IRRは例示を目的としたものであり、SVF1全体の投資成績の一部しか表していません。加えて、優先出資持分に対するコミットメントは反映されておらず(これはSVF1全体の投資成績に大きな影響を与えるものであり、より低い成績となる可能性があります)、いずれのリミテッドパートナーの投資成績を表すものではありません。個別の投資実績及び資金拠出・分配のタイミングに応じて、リミテッド・パートナー毎に投資成績は異なります。SVF1はこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。SVF1の投資成績はSVF1が一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF1への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

SVF1 (2025年3月末)
(SBG (LP) + 成功報酬)

普通出資IRR
4%

<公正価値の評価プロセス>

SBIAは四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)に準拠してSVF1で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。これに並行して、SVF1の投資アドバイザーボード(IAB: Investor Advisory Board)が、独立の投資評価者として複数の外部ファームを選任し、半期ごとにSVF1で実施された投資の独立評価を行っています。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、独立の投資評価者のレポートを十分に考慮の上、SBIAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCEOをはじめとするSBIAの上級管理職で構成されています。SBIAの投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はSVF1の独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果はSBIA UK Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法>

SVF1が適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、SVF1はIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比率法や、類似業種比率法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法をその手法の一つとし、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>

普通出資IRR(LP Net Equity IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分に係る内部収益率を指します。2025年3月末時点での普通出資持分に帰属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1の純資産価値を元に算出されています。

普通出資IRR(Net Equity IRR (SBG (LP)+成功報酬))は、マネージャーとしての成功報酬(支払済み・未払い含む)の影響について、調整が必要と判断される場合に本影響を調整した、SBGの普通出資持分に係る内部収益率(計算はLP Net Equity IRRと同様)を表しています。

“Equity”IRRは例示を目的としたものであり、SVF1全体の投資成績の一部しか表していません。加えて、優先出資持分に対するコミットメントは反映されておらず(これはSVF1全体の投資成績に大きな影響を与えるものであり、より低い成績となる可能性があります)、いずれのリミテッドパートナーの投資成績を表すものではありません。個別の投資実績及び資金拠出・分配のタイミングに応じて、リミテッド・パートナー毎に投資成績は異なります。SVF1はこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。

SVF1の投資成績はSVF1が一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF1への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

SVF2（2025年3月末） （SBG（LP））

ブレンドIRR

-15%

<公正価値の評価プロセス>

SBIAはSBGAの選任投資顧問として四半期ごとにIFRSに準拠してSVF2で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、SBGAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCEOとその他の上級管理職で構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はSVF2の独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果はSBGA Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法>

SVF2が適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、SVF2はIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法をその手法の一つとし、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>

ブレンドIRR(LP Net Blended IRR)とは、リミテッド・パートナーが負担する管理報酬、業績連動型管理報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分及び優先出資持分を含めたSVF2の異なる種類の証券の合計の正味の投資成績を表しています。2025年3月末時点でのリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF2の純資産価値を元に算出されています。なお、これは、Preferred Equity Coupon(分配済み・未払い含む)を反映したものです。

ブレンドIRR(Net Blended IRR (SBG (LP)))は、SBGのブレンドIRR率(計算はLP Net Blended IRRと同様)を表しています。2022年3月末に、成功報酬に関する規定が業績連動型管理報酬に関する規定に改定されましたが、業績連動型管理報酬はSBGの投資成績には含まれません。

SVF2はこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。

SVF2の投資成績はSVF2が一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF2への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

SVF1+2（2025年3月末）
（SBG（LP）+ 成功報酬）

ブレンドIRR
- 6 %

<公正価値の評価プロセス>
SBIAは四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)及びIFRSに準拠してSVF1及びSVF2(以下併せて「ファンド」)で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。SVF1では、これに並行して、SVF1の投資アドバイザーボード(IAB: Investor Advisory Board)が、独立の投資評価者として複数の外部ファームを選任し、半期ごとにSVF1で実施された投資の独立評価を行っています。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによるSVF1及びSVF2の評価結果は、独立の投資評価者のレポートを十分に考慮の上、SBIA及びSBGAのそれぞれの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。SBIAの投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCEOとその他の上級管理職で構成されています。投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCEOとその他の上級管理職で構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はファンドの独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。SVF1の評価結果はSBIA UK Boardに最終承認され、SVF2の評価結果はSBGA Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法>
ファンドが適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、ファンドはIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法をその手法の一つとし、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、SVF2の投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>
Vision Fund 1+2 (SBG (LP)+成功報酬)は、SBGによるファンドへの投資開始以来の合算の投資成績を表したものです。(以下に定義)
ブレンドIRR(LP Net Blended IRR)とは、管理報酬、業績連動型管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分及び優先出資持分を含めたSVF1とSVF2の異なるクラスの証券の合計の正味の投資成績を表しています。2025年3月末時点でのリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1とSVF2の純資産価値を元に算出されています。
ブレンドIRR(Net Blended IRR (SBG (LP)+成功報酬))は、SVF1のマネージャーとしての成功報酬(支払済み・未払い含む)の影響について、調整が必要と判断される場合に本影響を調整した、SBGのSVF1とSVF2に係るブレンドIRR(計算はLP Net Blended IRRと同様)を表しています。SVF2については、2022年3月末に、成功報酬に関する規定が業績連動型管理報酬に関する規定に改定されましたが、業績連動型管理報酬はSBGの投資成績には含まれません。
ファンドはこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。
ファンドの投資成績はファンドが一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表ものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF1もしくはSVF2への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

LatAm Funds（2025年3月末） （SBG（LP）＋ 成功報酬）

ブレンドIRR
- 3 %

<公正価値の評価プロセス>

SBIAはSBGAの選任投資顧問として四半期ごとにIFRSに準拠してLatAm Fundsで実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、SBGAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCEOとその他の上級管理職で構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はLatAm Fundsの独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果はSBGA Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法>

LatAm Fundsが適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、LatAm FundsはIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法をその手法の一つとし、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、LatAm Fundsの投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>

LatAm Fundsとは、LatAm1及びLatAm 2を含むSBLA Latin America Fund LLCの合算の投資成績を表したものです。

ブレンドIRR(LP Net Blended IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分及び優先出資持分を含めた正味の内部収益率を指します。2025年3月末時点でのリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びLatAm Fundsの純資産価値を元に算出されています。なお、これは、Preferred Equity Coupon(分配済み・未払い含む)を反映したものです。

ブレンドIRR(Net Blended IRR (SBG (LP)+成功報酬))は、SBGの普通出資持分に係る内部収益率(計算はLP Net Equity IRRと同様)を表しています。該当がある場合は、マネージャーとしての成功報酬(支払済み・未払い含む)の影響が加味されます。

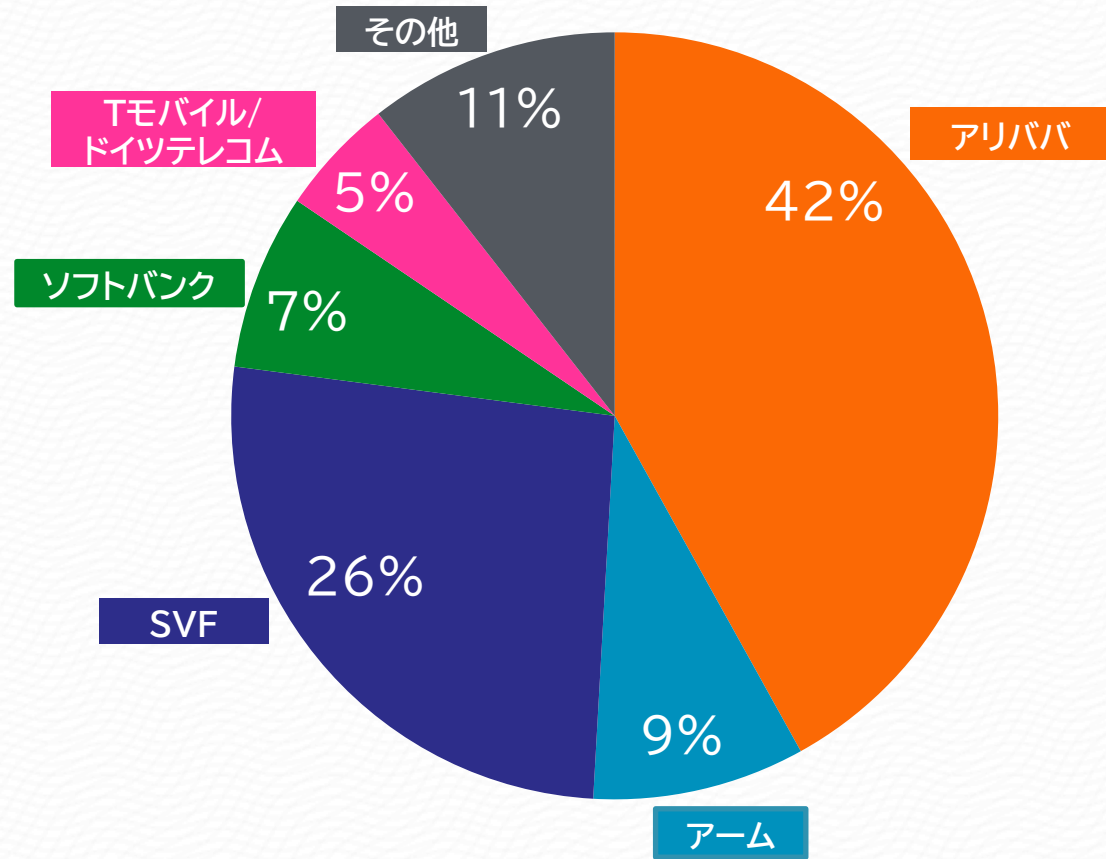
LatAm Fundsはこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

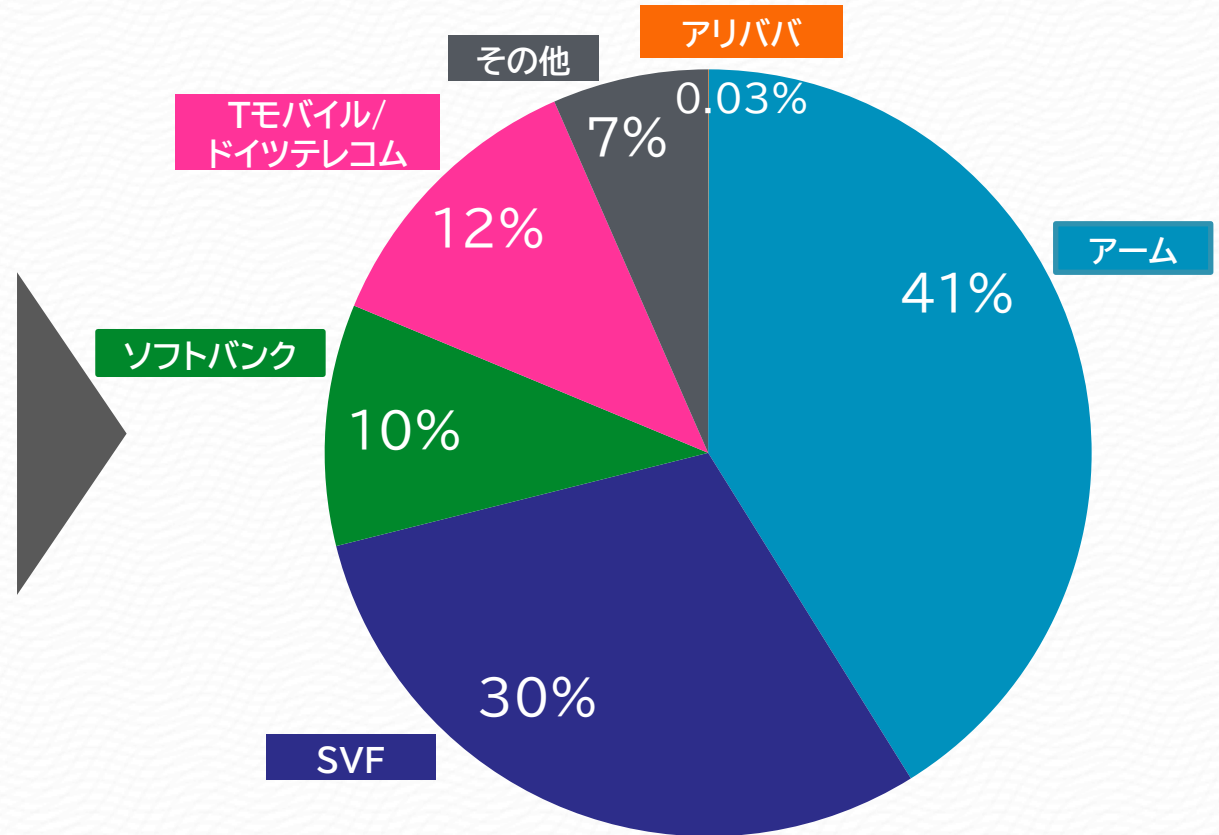
保有資産構成の変化

保有株式価値ベース
アセットバック・ファイナンス除く

2021年3月末



2025年3月末

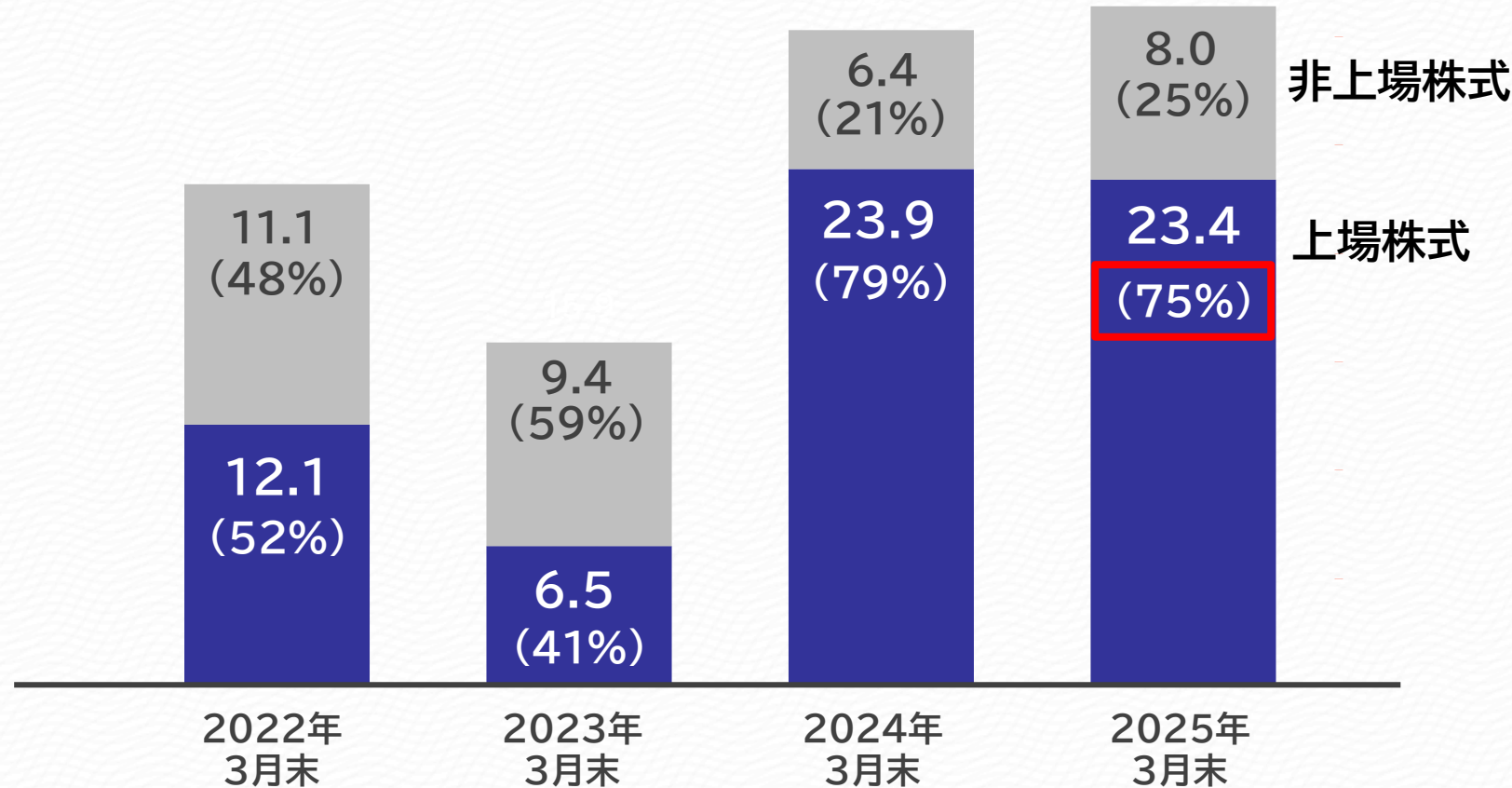


各時点の保有株式価値の構成割合
保有株式価値の算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
SVF:SVF1/SVF2/LatAmファンドの合計

保有株式価値：上場株比率の推移

保有株式価値ベース
アセットバック・ファイナンス除く

(兆円) ※()は合計に占める割合



上場株式比率は
75%

上場株比率：各期末の保有株式価値合計に占める上場株の割合。アリババ、アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、およびその他のうちの上場株式を含む。(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)